

平 成 22 年 度

野々市町の教育

野々市町教育委員会

はじめに

教育基本法の理念に基づく、教育の実現のために、町民の皆様の深いご理解ご協力をいただきながら地域に根ざした教育行政推進に努めております。

また、新学習指導要領の告示によって、昨年度から小中学校においては学習指導要領の一部先行しての移行措置実施に入り、完全実施にむけての対応を行うなど、教育改善が順次進行しております。

さて、野々市町教育委員会では、町民憲章を基調とし、確かな学力を育み、心豊かで想像力に富む人材の育成や生涯学習の充実、また、スポーツ・文化の振興を図るため、様々な施策を積極的に推進しているところです。

学校教育においては、将来を担う子どもたちの心身ともにすこやかな成長をめざし、人間形成の基礎・基本をしっかりと身につけるとともに、確かな学力と豊かな心、個性と創造性に富む生き生きした児童生徒の育成を図り、また、学校施設設備の整備を進め、新しい教育内容や教育活動に効果的な対応ができるように努めます。

生涯学習においては、青少年の健全育成や活力を引き出す機会の充実とともに、町民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実に努め、一人ひとりが生きがいを持って過ごせるように努めます。また、家庭教育はすべての教育の原点であり、地域ぐるみの支援を図ります。

文化振興においては、文化財の保護と活用を図ると同時に、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい町民文化の創造をめざします。

スポーツ振興においては、世代を越えた人々との交流を図りながら、健康で活力に満ちた生活を実現するため、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会の充実に努めます。

今日、教育全般における課題は山積しておりますが、課題を真摯に受け止め、5万人市制実現を展望する中で、町民の皆様の期待に添える教育行政を展開して参りたいと思っております。

皆様には、本冊子を通じまして野々市町の教育の概要をご理解いただき、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年7月

野々市町教育委員会
教育長 村上 維喜

愛と和の町民憲章

遙かに靈峰白山を仰ぐ野々市町は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かな町に住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに町民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよい町をつくりましょう。

1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高い町をつくりましょう。

1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るい町をつくりましょう。

1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かい町をつくりましょう。

1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかな町をつくりましょう。



町花木 ツバキ

目 次

I.	町勢概況	1
1.	野々市町のあゆみ	1
2.	人口と世帯数の推移	2
3.	平成22年人口ピラミッド	2
II.	予算の概要	3
1.	野々市町一般会計予算の規模	3
2.	施策の重点	3
3.	教育予算の規模	3
4.	一般会計予算額の構成比	4
5.	教育予算額の構成比	4
6.	教育予算歳出の状況	5
III.	教育目標及び基本方針	6
IV.	教育行政	7
1.	教育委員会会議	7
2.	教育委員会機構図	7
3.	教育委員会事務事業点検・評価	8
V.	学校教育	9
1.	基本方針及び重点事項	9
(1)	基本方針	9
(2)	重点事項	9
2.	町立小・中学校教育目標	10
	小学校・中学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味	13
3.	学校教育施策体系	15
(1)	教育活動	16
(2)	児童・生徒	18
(3)	教育環境	18
(4)	研 修	19
4.	教育施設	20
(1)	学校施設	20
(2)	通学区域	21
(3)	町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	21
(4)	町立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	22
(5)	特別支援学級の状況	22
(6)	町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	22
(7)	中学校卒業生進路状況	23
(8)	児童・生徒の推移	23
(9)	私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	24
(10)	石川県立養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	24
(11)	石川県立明和養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	24
(12)	石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	25

(13) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	25
(14) 石川県立大学学生数及び教職員数	25
(15) 石川県立大学学科別学生数	25
(16) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数	26
(17) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数	27
(18) 金沢工业大学学生数及び教職員数	27
(19) 金沢工业大学学科別学生数	28
VII. 生涯学習	29
1. 基本方針及び重点事項	29
(1) 基本方針	29
(2) 重点事項	29
2. 生涯学習施策体系	30
(1) 体制の整備	31
(2) 活動の推進	32
3. 生涯学習施設	42
(1) 施設の概要	42
(2) 施設利用の仕方	42
(3) 施設利用状況	43
(4) 町立図書館分類別蔵書構成	43
VIII. 文化	44
1. 基本方針及び重点目標と努力事項	44
(1) 基本方針	44
(2) 重点事項	44
2. 文化施策体系	45
(1) 文化財の活用と保存	46
(2) 芸術文化の振興	51
VIII. スポーツ振興	59
1. 基本方針及び重点事項	59
(1) 基本方針	59
(2) 重点事項	59
2. スポーツ振興施策体系	60
(1) スポーツ振興体制の確立	61
(2) スポーツ活動の推進	61
(3) スポーツ団体の育成	63
3. 体育施設	68
(1) 社会体育施設	68
(2) 学校体育施設	70
資料	
各種委員会委員等	73
歴代教育委員	81
町内施設住所・電話番号一覧	82
町内施設配置図	83

I. 町勢概況

1. 野々市町のあゆみ

靈峰白山を望む手取扇状地の扇央東部に位置する野々市町には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀錢「和同開珎」も発見されています。

中世においては、加賀守護として富樫氏が活躍し、富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

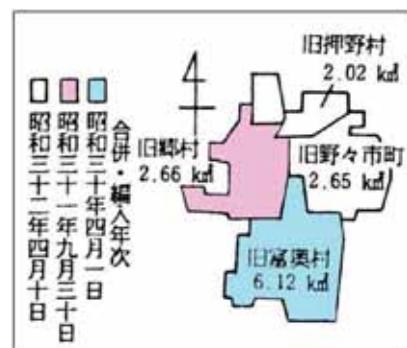
以来、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施工により急速に都市化が進む中、人口は5万人を間近に控え、市制への意向を踏まえたまちづくりを進めています。住民同士のコミュニケーションをより生み出せるようにと、地域のふれあいを大切に考えて造られた庁舎は新しい交流・新しいまちづくりを生み出す場所として活躍しています。

誰もが気軽に安心して交流できる環境を整え、さらなる発展をめざしています。



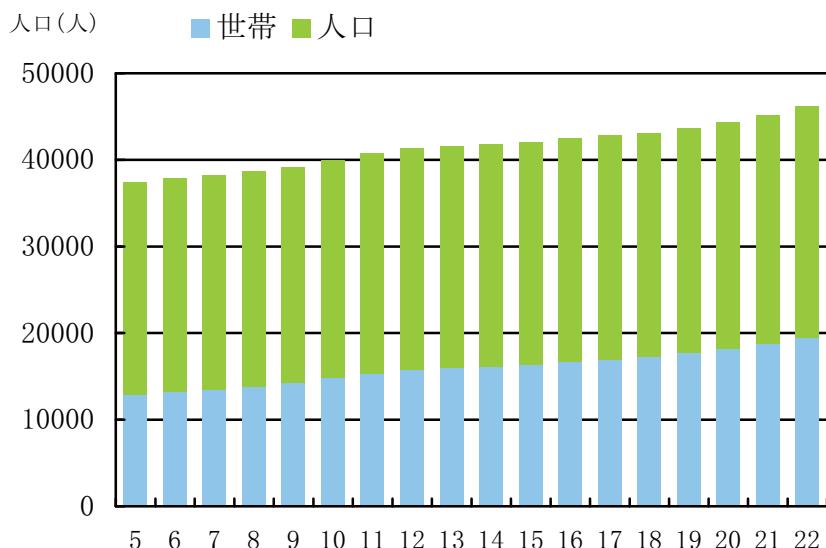
町 章

昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、町の融和と発展を象徴した簡潔清爽な意匠である。



野々市町は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない平坦地で北と東側を金沢市、南と西側を白山市とそれぞれ接しています。
北緯 $36^{\circ} 31' 45''$ 東西 4.5 km
東經 $136^{\circ} 37' 60''$ 南北 6.7 km
海拔最高／最低 $49.9 / 9.8\text{ m}$
面積 13.56 km^2 (建設省国土地理院の調査による)
石川県面積に対する割合…… 0.32%

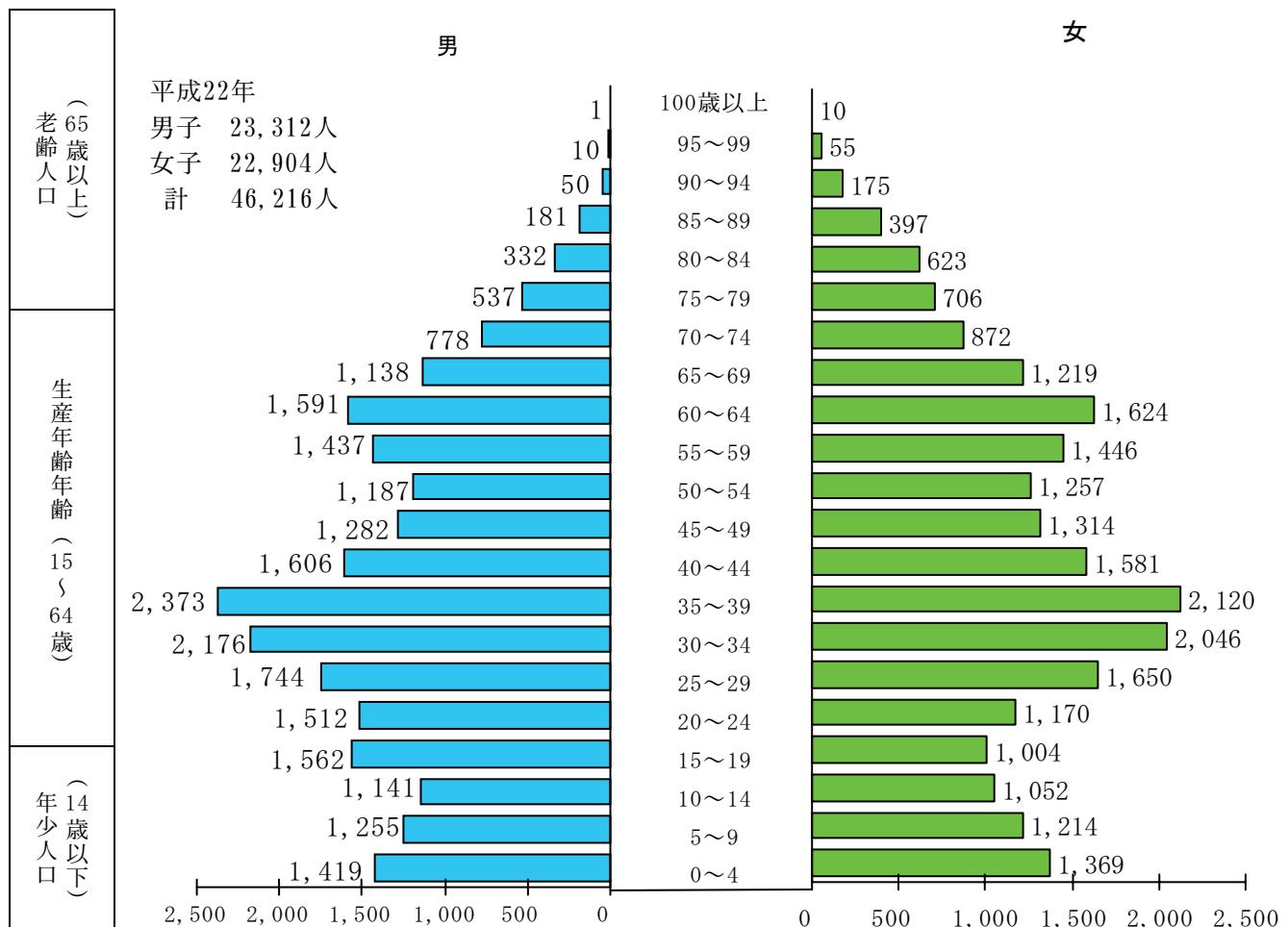
2. 人口と世帯数の推移



各年3月31日現在

3. 平成22年人口ピラミッド

平成22年3月31日現在



II. 予算の概要

1. 野々市町一般会計予算の規模

平成22年度当初予算額	165億4,000万円
平成21年度当初予算額	133億5,000万円
対前年度比較	31億9,000万円
増減率	23.9%の増

2. 施策の重点

☆ 共有と連携のまちづくり☆

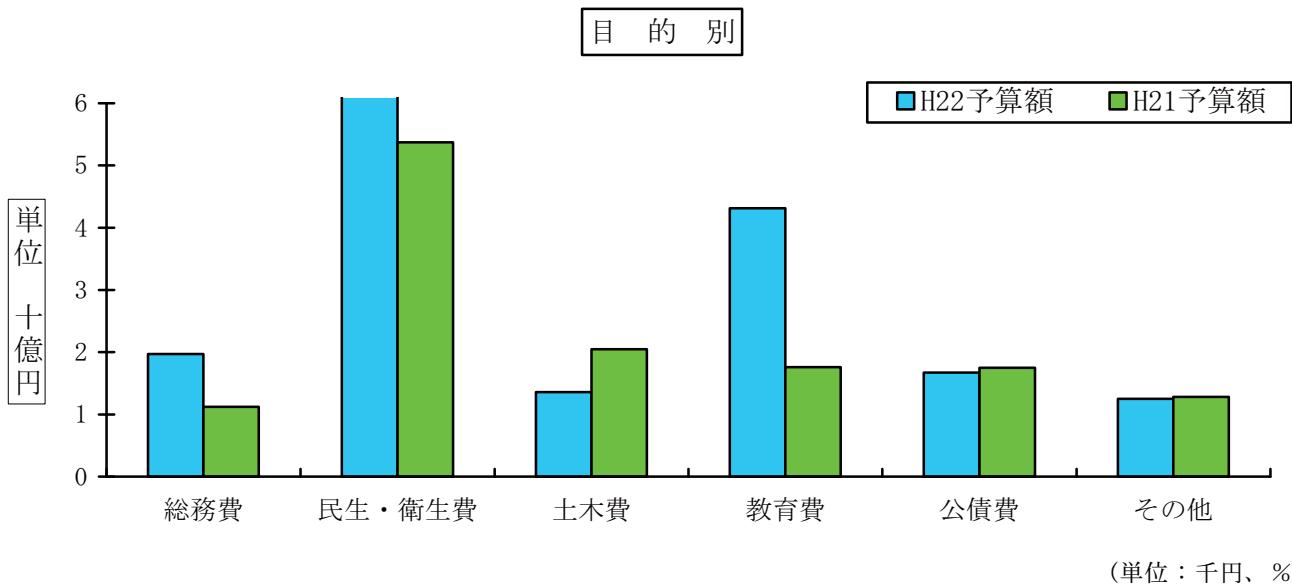
【基本目標】

- ◎ 人が集う魅力ある都市
- ◎ 緑に包まれた暮らし心地のよい都市
- ◎ 思いやりに支えられる心やさしい都市
- ◎ 元気で楽しく暮らせる都市
- ◎ だれもが参画できる都市

3. 教育予算の規模

平成22年度当初予算額	43億1,459万円
平成21年度当初予算額	17億6,529万8千円
対前年度比較	25億4929万2千円
増減率	144.4%の増
対一般会計構成比	26.1%

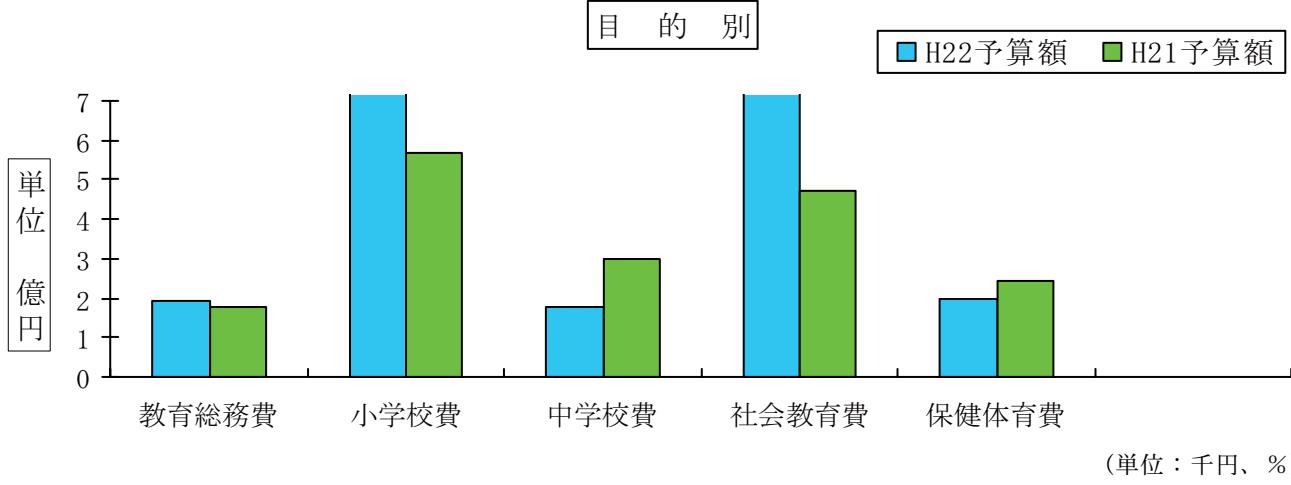
4. 一般会計予算額の構成比



区分	平成22年度		平成21年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
総務費	1,197,369	7.2	1,127,900	8.5	69,469	6.2
民生・衛生費	6,737,507	40.7	5,370,263	40.2	1,367,244	25.5
土木費	1,364,219	8.3	2,052,284	15.4	△ 688,065	△33.5
教育費	4,314,590	26.1	1,765,298	13.2	2,549,292	144.4
公債費	1,670,720	10.1	1,752,066	13.1	△ 81,346	△ 4.6
その他	1,255,595	7.6	1,282,189	9.6	△ 26,594	△ 2.1
合計	16,540,000	100.0	13,350,000	100.0	3,190,000	23.9

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

5. 教育予算額の構成比



区分	平成22年度		平成21年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比		
教育総務費	191,688	4.5	179,638	10.2	△ 12,050	6.7
小学校費	2,426,902	56.2	568,015	32.2	1,858,887	327.3
中学校費	176,327	4.1	300,645	17.0	△ 124,318	△ 41.4
社会教育費	1,322,229	30.6	473,597	26.8	848,632	179.2
保健体育費	197,444	4.6	243,403	13.8	△ 45,959	△ 18.9
合計	4,314,590	100.0	1,765,298	100.0	2,549,292	144.4

6. 教育予算歳出の状況

(単位：千円)

区分	平成22年度		平成21年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A-B (C)	C/B × 100
教育費	4,314,590	99.83	1,765,298	99.61	2,549,292	144.41
1 教育総務費	191,688	4.44	179,638	10.14	12,050	6.71
1 教育委員会費	2,610	0.06	3,096	0.17	△ 486	△ 15.70
2 事務局費	160,724	3.72	163,120	9.20	△ 2,396	△ 1.47
3 事務局振興費	14,209	0.33	-	-	14,209	-
4 特殊教育費	834	0.02	827	0.05	7	0.85
5 教育センター費	13,311	0.31	12,595	0.71	716	5.68
2 小学校費	2,426,902	56.15	568,015	32.05	1,858,887	327.26
1 管理費	2,334,942	54.03	487,799	27.52	1,847,143	378.67
2 教育振興費	83,760	1.94	80,216	4.53	3,544	4.42
3 給食センター費	8,200	0.19	-	-	8,200	-
3 中学校費	176,327	4.08	300,645	16.96	△ 124,318	△ 41.35
1 管理費	73,610	1.70	75,834	4.28	△ 2,224	△ 2.93
2 教育振興費	34,385	0.80	31,766	1.79	2,619	8.24
3 給食センター費	68,332	1.58	193,045	10.89	△ 124,713	△ 64.60
4 社会教育費	1,322,229	30.59	473,597	26.72	848,632	179.19
1 社会教育総務費	96,294	2.23	93,905	5.30	2,389	2.54
2 青少年教育費	12,173	0.28	12,328	0.70	△ 155	△ 1.26
3 社会教育振興費	60,232	1.39	60,061	3.39	171	0.28
4 図書館費	19,141	0.44	17,322	0.98	1,819	10.50
5 文化財保護費	145,202	3.36	138,063	7.79	7,139	5.17
6 文化振興費	989,187	22.89	151,918	8.57	837,269	551.13
5 保健体育費	197,444	4.57	243,403	13.73	△ 45,959	△ 18.88
1 保健体育総務費	46,940	1.09	38,287	2.16	8,653	22.60
2 保健体育施設費	134,136	3.10	185,669	10.48	△ 51,533	△ 27.76
3 保健体育振興費	16,368	0.38	19,447	1.10	△ 3,079	△ 15.83
労働費						
1 労働諸費						
2 女性センター費	7,289	0.17	6,915	0.39	374	5.41

III. 教育目標及び基本方針

【教育目標】

「人格の完成」を目指すこととした教育基本法の崇高な理念をふまえ、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指すとともに、町民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できるような人間の育成をめざす。

【基本方針】

- 1 個性と創造性に富む生き生きとした児童生徒の育成をめざす。
- 2 町民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図る。
- 3 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進める。
- 4 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに、文化財の保護活用を図る。
- 5 芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい町民文化の創造をめざす。
- 6 健康で活力に満ちた生活を実現するため、スポーツ・レクリエーション活動の機会と充実を図る。

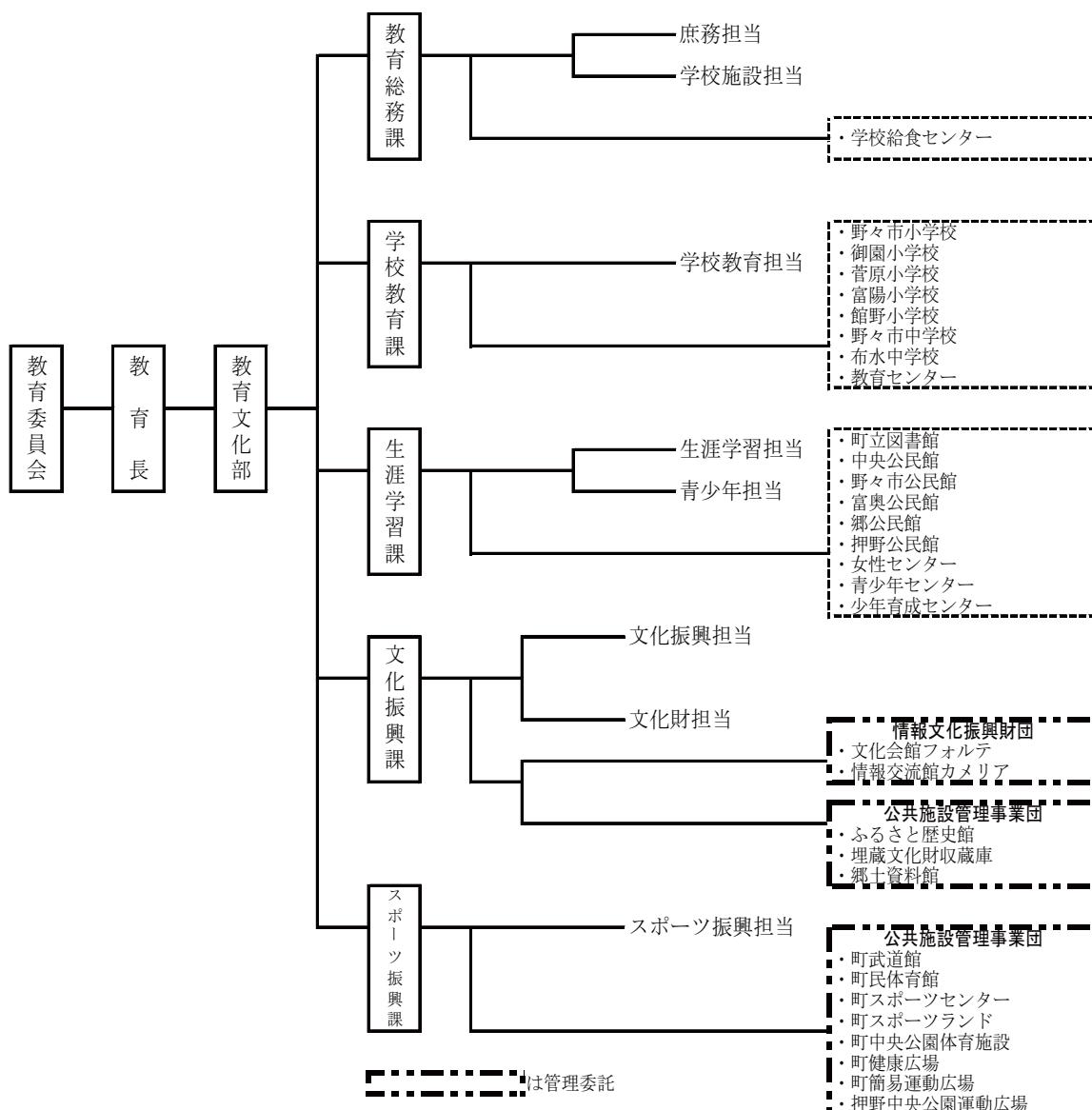
IV. 教 育 行 政

1. 教育委員会会議

各年12月末日現在（単位：回、件）

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
平成 16 年	1 2	3	3 2
1 7	1 2	2	4 2
1 8	1 2	4	1 9
1 9	1 2	3	1 9
2 0	1 2	5	3 0
2 1	1 2	7	2 7

2. 教育委員会機構図



3. 教育委員会事務事業点検・評価

教育委員会の責任体制の明確化等を柱とした、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成20年4月1日に施行され、これにより「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること」が義務付けされました。

これに伴い、野々市町教育委員会では平成20年度より教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い、公表を行っています。今後も委員会事業に伴う活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて町民にわかりやすく教育委員会活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本町の教育基本方針の実現に向け、教育の充実と振興をめざします。

V. 学校教育

1. 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

人間尊重と相互信頼の精神に基づいた自主・自立性を培い、知・徳・体の調和のとれた個性豊かで創造性に富む児童・生徒の育成を目指すとともに、安心、安全で、特色ある教育・学校づくりを推進する。また、正義感や倫理観、思いやりの心などの豊かな人間性を育む「心の教育」の充実を図るとともに、障害のある児童・生徒が適切な教育を受けることができるよう努める。

(2) 重点事項

ア. 生き生きとした学校づくりと教育内容の充実

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に努めるとともに、これらを活用して課題を解決するため必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育成するとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことを目指す。
- ② 個性の伸長を図り、児童・生徒の主体的な学習活動を促すよう努める。
- ③ 人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるための基盤となる道徳性の育成のため、「道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実に努める。
- ④ 家庭や地域社会の人々との協力、学校間交流や交流教育を進めるなど開かれた学校づくりに努める。
- ⑤ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育の充実に努める。
- ⑥ 児童生徒の危険回避能力育成のため、安全教育の充実に努める。

イ. 心身ともに健康で活力に満ちた人間の育成

- ① 豊かな情緒の涵養を図るとともに、人権尊重の精神を高め、正しい人間関係を築き上げるよう努める。
- ② 環境に対する理解を深め、環境を大切にする心の育成に努める。
- ③ 国際化社会に寄与するために、視野の広い児童・生徒の育成に努める。
- ④ 食育の推進、体育の授業や部活動の充実による体力の向上及び心身の健康保持・増進、健康・安全に対する態度・習慣の育成に努める。
- ⑤ 学校・家庭・地域社会の連携を深め、心の通い合う生徒指導に努める。

ウ. 教職員の資質向上と指導力の充実

- ① 授業研究を奨励し、指導力の充実に努める。
- ② 学校ぐるみの教育研究を推進し、学校間の協力・連携に努める。
- ③ 教職員研修の充実と活用に努める。
- ④ 教育公務員としての使命の自覚と人間的魅力のある教職員の育成に努める。

2. 町立小・中学校教育目標

野々市小学校

確かな学力と豊かな人間性を身につけた、たくましい子を育てる。

- (1) 健康でやりぬく子
 - ・体や健康に関心を持ち、進んで運動に親しむ子
 - ・目標達成に向けて、最後まで取り組む子
- (2) 心豊かな考える子
 - ・感性豊かで、思いやりのある子
 - ・進んで学び、課題を解決しようとする子
- (3) よりよい社会を築く子
 - ・集団や社会の一員として自覚ある行動がとれる子

御園小学校

未来を逞しく生きぬく人間の育成（知力と人間性の同時育成）

— 自ら考え、正しく判断し、実践力のある心豊かな子の育成 —

「見わたすとニコニコ笑顔、やさしい学校」

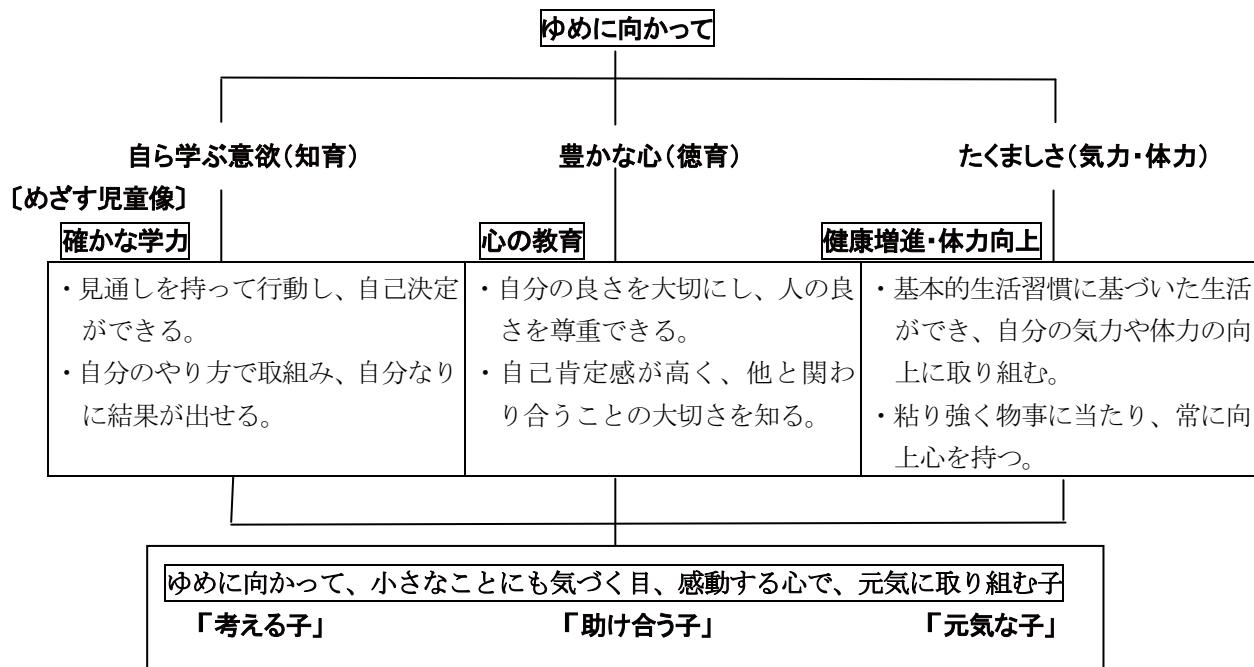
“ニコニコ ほかほか”

- (1) 人の気持ちを思いやろうとする子「やさしい子」 徳 やさしく
- (2) 進んで学ぼうとする子 「考える子」 知 かしこく
- (3) じょうぶな体をつくろうとする子「元気な子」 体 たくましく

菅原小学校

〔めざす学校像〕

ゆめに向かって、豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく活動する子を育てる。



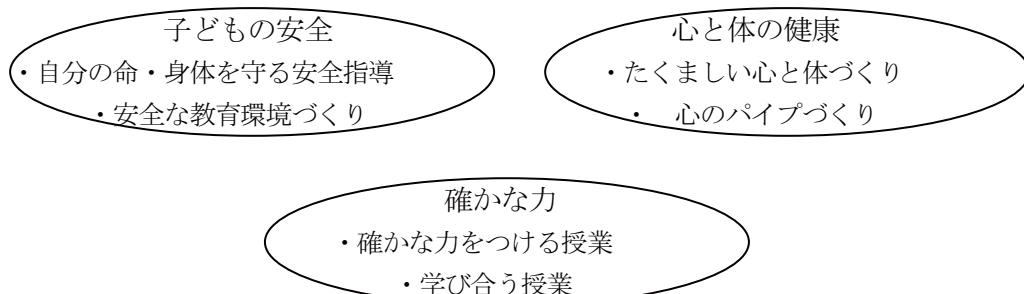
富陽小学校

『感性をみがき、自ら考え、実践する子』の育成

めざす児童像

- ① かんがえる子
- ② やさしい子
- ③ たくましい子

教育の重点



館野小学校

「心豊かでたくましく、すすんで学び合う子」の育成

～かかわり合い、学び合い、高め合い～

めざす児童像

- ・明るく いつも笑顔で接し、友達に思いやりがある子
- ・正しく 学び合い、高め合い、考えて正しく行動する子
- ・たくましく 健康な体と心を持ち、最後までやりぬくたくましい子

めざす学校像

- ・子どもたちの笑顔があふれ、「大好きな私たちの学校」と思える学校
- ・子どもたちが夢を持ち、楽しく、安全で、安心して学べる学校
- ・保護者、地域と連携し、信頼される開かれた学校

めざす教職員像

- ・明るい笑顔と思いやりをいつも忘れない教師
- ・自らの指導力向上を図り、互いに高め合い協力し、教育目標の具現化に向けて組織的に取り組む教師
- ・子ども一人ひとりを大切にし、子ども、保護者と心を通い合わせ、信頼される教師

野々市中学校

志を高くし、郷土を愛する生徒を育てる

教育方針

- ① 自ら学ぶ意欲をもち、創造的で、個性豊かな生徒を育成する。 【自 主】
- ② 正しい判断力をもち、自律的で、実践力のある生徒を育成する。 【実 践】
- ③ 尊敬と信頼の心をもち、学校や地域を大切にする。 【友 愛】
- ④ 教育者としての使命を自覚し、人格の陶冶と高い指導力を身につけるため日々の研鑽に努める。
- ⑤ 人権尊重の精神に徹し、あらゆる差別を許さない生徒を育てる。
- ⑥ 自問教育を実施し、自発性を引きだし、自主・自立・思いやりのある心を持つ生徒を育てる。

布水中学校

高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身につけた生徒の育成

校 訓

- (1) “確かな学力と体力を身につけ、未来への創造に向かって自らを高める意欲を持つ生徒” の育成
- (2) “義務と責任をわきまえ、自主独立の気質と行動力を持つ生徒” の育成
- (3) “正義を愛し、正しい判断力をもち、厳しく自律することのできる生徒” の育成
- (4) “互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒” の育成
- (5) “ルールを守り、環境の浄化に努め、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒” の育成

向 上
独 立
自 律
友 愛
公 聴

小学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味



管内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに町章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡れればますます強くなる麻の繊維のように、何ごともくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

野々市小学校

校名のいわれは、昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり野々市小学校の名が付けられました。翌年には郷小学校が野々市小学校と統合しています。

校旗の色は、緑です。

御園小学校

校名のいわれは、耕地整理前の小高い丘であり、古老達はその一帯をみそのと伝え聞いてきました、その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったと言うことです。

みそのとは、過去に献穀田があったためと言われています。校名は、この昔から親まれてきた地名に決まりました。

校旗の色は、紺です。

菅原小学校

校名のいわれは、昭和39年に野々市町本町の一部からできた菅原町に建設したため、一般に親しまれている地名から校名が決まりました。

菅原の地名は、平安時代に加賀權守に任せられた菅原道真公が、野々市町のこの地を通過したとされることがあります。

校旗の色は、赤です。

富陽小学校

校名のいわれは、歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願い、この名が付けされました。

校旗の色は、黄色です。

館野小学校

校名のいわれは、野々市町は、中世における加賀文化の発祥地として隆盛をとげた、加賀国の守護・富樫一族の館があったとされ、本校の運動場に隣接する土地も古くからタチナカと呼ばれ、富樫家善の館があったと伝えられています。

富樫氏の人徳と残された幾多の輝かしい文化をしのび、このゆかりある地で、児童が伸び伸びと健やかに学び育つことを願いタチナカの「館」と野々市の「野」を合わせ館野と名付けられました。

校旗の色は、紫です。

中学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味

野々市中学校

校名のいわれは、町村合併により昭和31年3月31日、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり昭和31年4月1日より、新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。

当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままとって野々市中学校と名付けられました。

さらに翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市町は古くは麻の栽培も盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い繊維で水を含むと更に強度を増します。又、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願ってその葉を図案化しました。

布水中学校

校名のいわれは、布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しくつつみ、また校舎の横を流れる木呂川は靈峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い校名が付けられました。

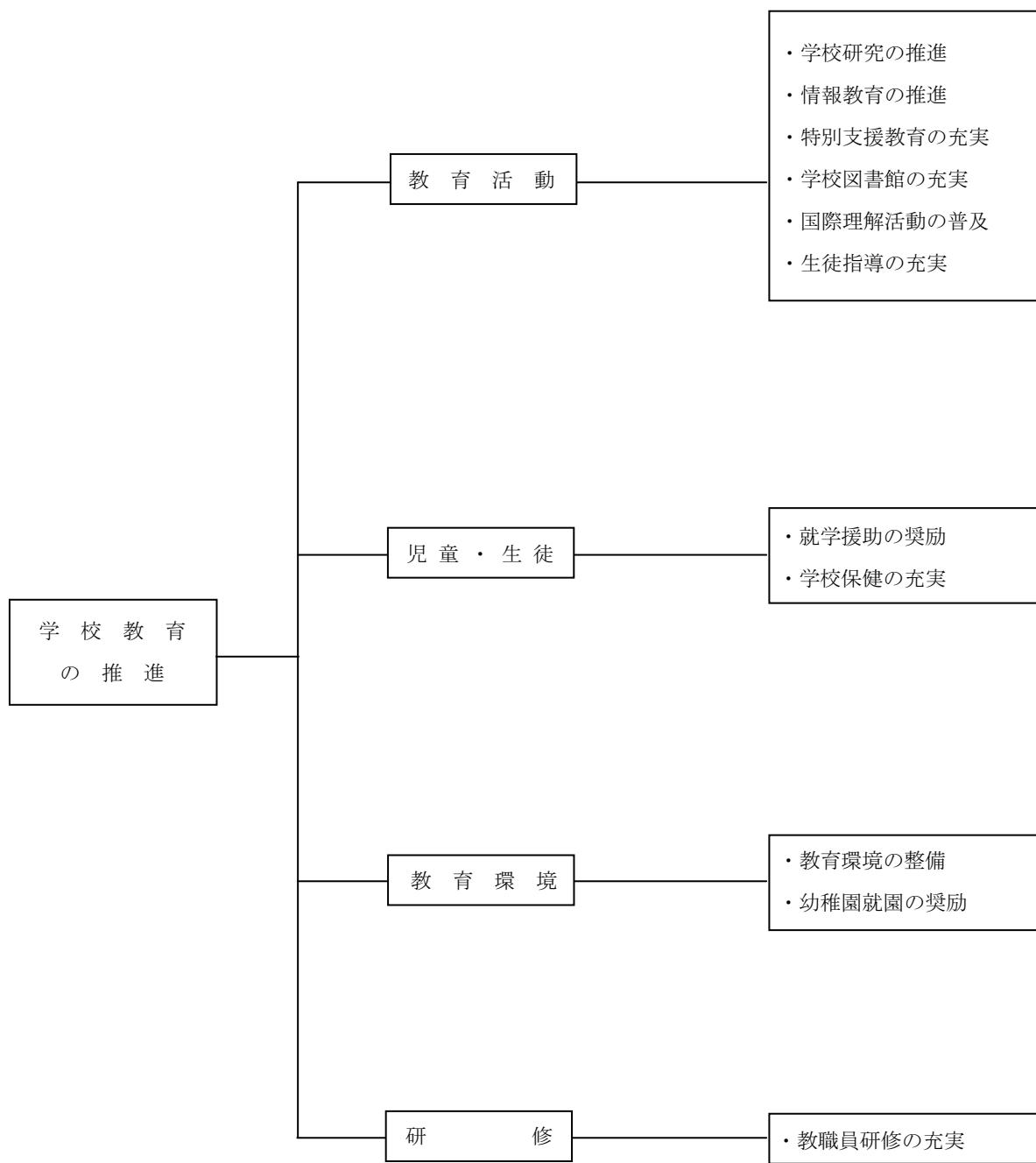


校旗はスクールカラーの、水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長なのは向上を表現しています。

襟章は、青は若い力を、白は誠実、赤は友愛を表現しています。

3. 学校教育施策体系



(1) 教育活動

ア. 情報教育の推進

① 情報教育の環境整備

町内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備する。

平成12年度 校内LANの整備

平成18年度 中学校2校パソコン教室コンピュータ等更新

平成20年度 小学校5校パソコン教室コンピュータ等更新

小学校5校へ授業支援システムの導入と情報教育支援員の配置

小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

平成21年度 全教職員に校務用コンピュータ配置

② 教育情報ネットワークの構築

平成21年度 小中学校教職員全員にコンピュータを配置し、LANにより学校内での教育情報の共有化を図る。

イ. 特別支援教育

① なかよし教室

3歳～12歳までの幼児・児童及びその保護者を対象に、知的、情緒及び運動などに発達の遅れがあると認められる幼児等に対して総合的な指導や訓練を行う。毎週土曜日開催する。

② 特別支援教育支援員

各小中学校に1名配置。発達障害など個別に支援が必要な児童生徒を中心に支援する。

ウ. 学校図書館の充実

① 小・中学校図書館整備事業

学校図書館業務として、小中学校に図書館司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実につとめる。

平成12年度 図書館司書配置 小学校2名 中学校1名

平成13年度 図書館司書全学校配置

平成14年度 校長期間休業期間中の司書常駐による図書館開館

平成15年度 図書館司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置

平成17年度 図書館司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員へ雇用形態を変更）

平成20年度 小中学校7校に学校図書館蔵書管理システムの導入

エ. 国際理解の推進

① 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校と深圳小学との友好校締結以来、交流事業を行う。

平成16年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 児童12名 引率他11名

平成17年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他12名

平成18年度 中国深圳小学と作品交流

平成19年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他10名
平成20年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他10名
平成21年度	中国深圳小学より教育友好訪問団の招致	児童12名	引率他10名
平成22年度	中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣	児童12名	引率他10名

② 小学校外国語活動推進事業

平成23年度より新教育課程に位置づけられている5・6年生小学校外国語活動の円滑な実施と、これまで実施されてきた3・4年生英語活動を継続して実施することで、本町児童のコミュニケーション能力の素地を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指す。

3～4年生10時間程度の実施

5～6年生35時間程度の実施

各校に週2回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。

③ 英語指導助手招致事業（中学校）

外国語教育、とりわけ英語の教育は、ますます国際化が進む環境の中でその重要性が高まっており英語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図る。

英語指導助手1名（中学校2校に1ヶ月ずつ交互派遣）

才 生徒指導（いじめ・不登校等）

① 教育相談員配置事業

不登校およびその傾向にある児童生徒とその保護者に対し、教育相談や学校生活への適応指導にあたる。平成21年度 全小中学校に配置。

② スクールカウンセラー活用事業

いじめや不登校等生徒の問題行動等の対応のため、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する。（県より派遣）

平成22年度派遣校 野々市中学校、布水中学校

③ 教育相談

・不登校及びその傾向を示す児童生徒に対する相談活動

（電話カウンセリング、面接指導、学校・家庭訪問、適応指導教室通室等）

・問題行動の芽をもつ児童生徒への相談活動

・教職員への相談活動（臨床心理士が対応）

・心の電話相談「ふれあいダイヤル 246-7830」

・町少年育成センターとの連携

④ 適応指導教室「ふれあい教室」

不登校や、その傾向にある児童生徒の通室指導を行い、子どもたちが心を休め、自分を見つめながら、学校へ復帰できるように支援する。

・安心して過ごせる居場所づくり

・児童生徒の自己決定の重視

・再登校に向けての連携

(2) 児童・生徒

ア. 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助費 535名 38,550千円(平成21年度実績)

特別支援教育就学奨励費 23名 1,703千円(平成21年度実績)

イ. 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施する。

平成22年度 学校保健事業

時 期	事 業	対 象	
		小学校	中学校
4月～6月	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 聴力検査	1年～5年	1年、3年
	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 内科	全 員	全 員
	◎ 歯科検診	全 員	全 員
	◎ 耳鼻科検診	1・4年	1 年
	◎ 眼科検診	問診により必 要な者	問診により必 要な者
	◎ 結核検診(問診・検診)	全 員	全 員
	◎ 心臓検診	1 年	1 年
6月～7月	◎ 尿検査	全 員	全 員
	◎ 血液検査(貧血・コレステロール・肝機能等)	—	2年(希望者)
	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 就学時健診	就学予定者	—
9月	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 身体計測	全 員	全 員
10月	◎ 就学時健診	就学予定者	—
	◎ 視力検査	全 員	全 員
1月	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 身体計測	全 員	全 員

(3) 教育環境

ア. 教育環境

① 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図る。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事(第1期)
- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断

- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事
- ・平成18年度 館野小学校増築等工事、PFI導入可能性調査
- ・平成19年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 実施方針等公表）
菅原小学校地震補強・大規模改造工事実施設計
富陽小学校音楽室エアコン設置工事
- ・平成20年度 菅原小学校地震補強等工事
御園小学校屋内運動場耐震診断
学校給食センター増築等工事実施設計
野々市小学校施設整備事業（PFI事業 事業者選定・基本設計）
- ・平成21年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 実施設計・建設工事）
菅原小学校地震補強等工事
学校給食センター増築等工事
御園小学校屋内運動場地震補強等工事実施設計
野々市中学校屋内運動場耐震診断、地震補強等工事実施設計
- ・平成22年度 野々市小学校施設整備事業（PFI事業 建設工事）
御園小学校屋内運動場地震補強等工事
野々市中学校屋内運動場地震補強等工事
富陽小学校増築等工事実施設計

② 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図る。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

③ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実に努める。

イ. 幼児教育

① 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行う。

私立幼稚園就園奨励費	423名	34,630,200円	(平成21年度実績)
私立幼稚園運営費補助金	町内2園	1,980千円	(平成21年度実績)

(4) 研修

ア. 教職員研修

今日的教育課題に対応した研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図る。

- ・管理職、主任（主事）等対象研修
- ・生徒指導研修
- ・学校図書館研修
- ・国際理解教育等研修
- ・情報教育研修
- ・特別支援教育研修
- ・初任者研修

4. 教育施設

(1) 学校施設

(平成22年5月1日)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造規模(m ²)
小学校	野々市小学校	昭和36年4月	14,784m ²	校舎 R 4階 5,571m ² 体育館 R 1,120m ²
	御園小学校	昭和53年4月	19,937m ²	校舎 R 4階 5,101m ² 体育館 R 1,409m ²
	菅原小学校	昭和56年4月	18,004m ²	校舎 R 4階 5,378m ² 体育館 R 1,667m ²
	富陽小学校	昭和57年4月	21,757m ²	校舎 R 3階 5,411m ² 体育館 R 1,614m ²
	館野小学校	昭和59年4月	20,089m ²	校舎 R 4階 5,569m ² 体育館 R 1,489m ²
中学校	野々市中学校	昭和31年4月	24,016m ²	校舎 R 4階 7,691m ² 体育館 R 2,130m ²
	布水中学校	昭和59年4月	28,262m ²	校舎 R 4階 6,714m ² 体育館 R 2,193m ²
野々市学校給食センター		平成15年4月	2,233m ²	S 2階 1,399m ²
教育センター		平成5年3月	546m ²	R 2階 644m ²

校舎面積に給食室を含む



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中学校



給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学 校 名	通 学 区 域
野々市小学校 本町5丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町4～5丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納、位川、太平寺1～4丁目、堀内1～4丁目、堀内5丁目(1～191、234～239、302～304、312、322、336番地)、田尻町、郷町、蓮花寺町、柳町
御園小学校 稲荷4丁目128番地 ☎ 248-3201	本町6丁目、稻荷1～4丁目、堀内5丁目(192～233、240～301、305～311、313～321、323～335、337～341番地)、三日市町、二日市1丁目、二日市町、徳用町、長池、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町2～3丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作1～4丁目
富陽小学校 中林5丁目70番地 ☎ 246-4380	上林1～5丁目、中林1～5丁目、末松1～3丁目、藤平、藤平田1～2丁目、清金1～3丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、粟田1～6丁目
館野小学校 押野3丁目71番地 ☎ 248-0622	本町1丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野1～7丁目
野々市中学校 字三納300番地 ☎ 246-0115	本町5丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納、藤平、位川、清金1～3丁目、末松1～3丁目、太平寺1～4丁目、粟田1～6丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、藤平田1～2丁目、中林1～5丁目、上林1～5丁目、矢作1～4丁目
布水中学校 押野2丁目100番地 ☎ 248-0039	本町1～4丁目、本町6丁目、若松町、横宮町、高橋町、稲荷1～4丁目、堀内1～5丁目、田尻町、三日市町、二日市町、二日市1丁目、徳用町、郷町、蓮花寺町、柳町、長池、押野1～7丁目、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目

(3) 町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

平成22年5月1日現在 学校基本調査 (単位:人)

区 分	学級数	児 童 生 徒 数			教 員 数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	18(2)	249	224	473	8	18	26	8
御園小学校	23(2)	349	315	664	11	23	34	8
菅原小学校	16(2)	221	221	442	10	13	23	7
富陽小学校	24(3)	377	380	757	11	24	35	7
館野小学校	20(3)	239	254	493	10	17	27	7
小学校計	101(12)	1,435	1,394	2,829	50	95	145	37
野々市中学校	18(2)	303	300	603	20	20	40	3
布水中学校	20(3)	336	277	613	20	19	39	3
中学校計	38(5)	639	577	1,216	40	39	79	6
合 計	139(17)	2,074	1,971	4,045	90	134	224	43

() は特別支援学級再掲

(4) 町立小学校数・学級数・児童数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	児童数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
16	5	87(10)	1,312	1,185	2,497	51	81	132	1	44	45
17	5	92(10)	1,355	1,221	2,576	51	84	135	1	44	45
18	5	95(10)	1,381	1,256	2,637	51	89	140	0	38	38
19	5	95(9)	1,402	1,294	2,696	52	89	141	0	34	34
20	5	99(12)	1,429	1,318	2,747	52	97	149	0	34	34
21	5	101(12)	1,441	1,386	2,827	59	93	162	0	33	33
22	5	101(12)	1,435	1,394	2,829	50	95	145	1	36	37

※注1 () は特別支援学級再掲 ※注2 18年度以降職員数に臨時職員は含めない。

(5) 特別支援学級の状況

平成22年5月1日現在（単位：人）

区分	学級名	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	1	2	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
御園小学校	知的障害	1	3	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
菅原小学校	知的障害	1	3	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
富陽小学校	知的障害	1	6	1
	自閉症・情緒障害	1	3	1
館野小学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1
	肢体不自由	1	1	1
野々市中学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1
布水中学校	知的障害	1	1	1
	自閉症・情緒障害	1	1	1

(6) 町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	生徒数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
16	2	34(2)	552	580	1,132	38	31	69	1	9	10
17	2	34(3)	539	549	1,088	36	33	69	1	7	8
18	2	32(3)	541	513	1,054	35	33	68	1	7	8
19	2	35(4)	596	500	1,096	38	35	73	1	7	8
20	2	34(2)	599	517	1,116	40	27	67	1	6	7
21	2	38(5)	624	537	1,161	41	35	76	1	5	6
22	2	38(5)	639	577	1,216	40	39	79	1	5	6

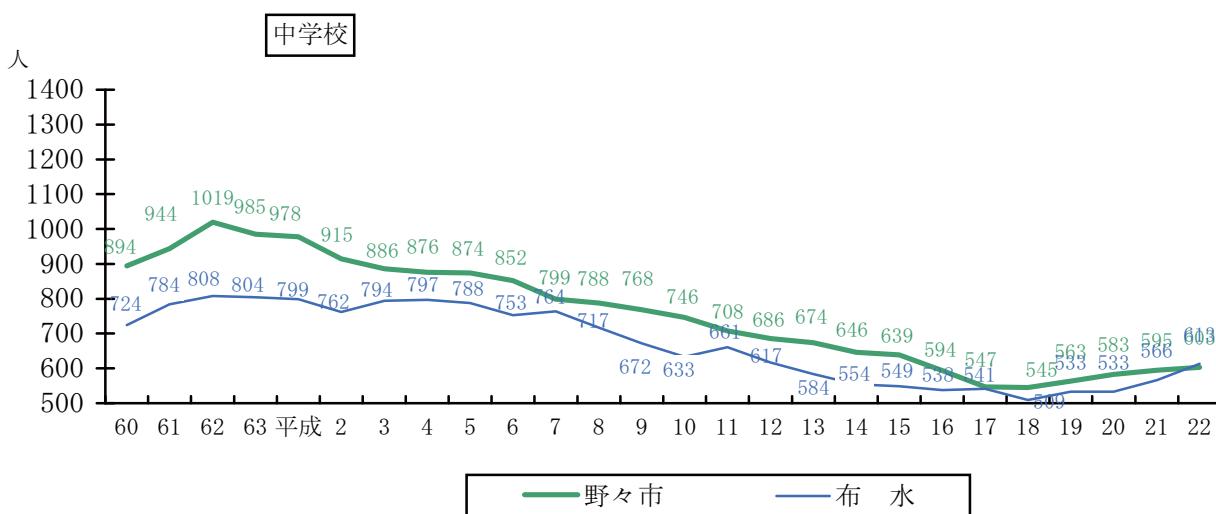
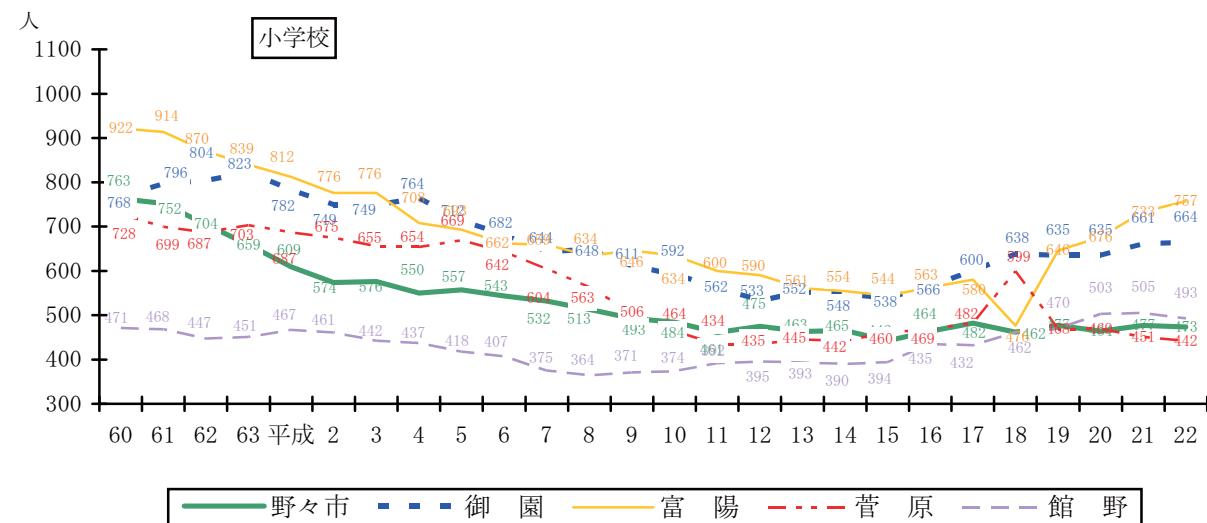
※注1 () は特別支援学級再掲 ※注2 18年度以降職員数に臨時職員は含めない。

(7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	卒業者計 (B+C+D +E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就職者 E	無業者・ その他 F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G		高等学校 等進学率 [B/A]	就職率 [(E+G)/A]
							Bのうち	C、Dのうち		
16	405	384		1	1	19			94.8	0.2
17	391	387			2	2			99.5	0.5
18	387	377		2	2	6			97.4	0.5
19	350	347			1	2			99.1	0.3
20	350	346			2	2			98.9	0.6
21	347	343				4			98.9	0
22	393	387			2	4			98.5	0.5

(8) 児童・生徒の推移 (各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇 が 丘	16	5	43	57	100	—	7	7	1	—	1
	17	3	43	51	94	—	7	7	1	—	1
	18	3	42	46	88	—	8	8	1	—	1
	19	3	42	36	78	—	7	7	1	—	1
	20	3	44	42	86	—	10	10	1	—	1
	21	3	51	43	94	—	9	9	1	—	1
	22	4	48	40	88	—	9	9	1	—	1
青 竜 第 二	16	10	81	83	164	2	14	16	1	1	2
	17	10	81	84	165	3	13	16	1	1	2
	18	9	81	70	151	1	13	14	1	1	2
	19	10	79	85	164	2	13	15	1	1	2
	20	10	86	73	159	3	13	16	1	1	2
	21	10	95	74	169	3	12	15	1	1	2
	22	11	105	66	171	3	12	15	1	1	2

資料：北陸学院扇が丘幼稚園（臨時職員を含む）・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※石川県立明和養護学校と統合により平成22年3月31日閉校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
16	23	27	29	56	22	40	62	37
17	23	29	31	60	19	42	61	36
18	21	30	23	53	19	39	58	35
19	18	28	19	47	16	35	51	33
20	14	23	13	36	14	29	43	30
21	14	22	11	33	15	28	43	29

資料：石川県立養護学校

(11) 石川県立明和養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※石川県立養護学校と統合により平成22年3月31日閉校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
16	74	176	88	264	54	91	145	31
17	69	180	86	266	45	92	137	31
18	70	181	79	260	48	86	134	31
19	72	195	82	277	47	89	136	30
20	53	152	51	203	39	77	116	25
21	53	156	50	206	40	81	121	15

資料：石川県立明和養護学校

(12) 石川県立明和特別支援学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

※平成22年4月1日より開校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	部門名	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
			男	女	総数	男	女	総数	
22	肢体不自由教育	14	22	12	34	51	103	154	54
	知的障害教育	53	162	61	223				

資料：石川県立明和特別支援学校

(13) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
16	25	489	503	992	38(3)	25(3)	63(6)	9
17	24	463	491	954	37(3)	22(4)	59(7)	9
18	24	440	517	957	38(5)	22(2)	60(7)	10
19	23	410	502	912	34(6)	19(4)	53(10)	10
20	22	382	492	874	31(4)	20(7)	51(11)	10
21	20	358	435	793	28(5)	19(5)	47(10)	9
22	20	383	409	792	28(5)	18(5)	46(10)	9

資料：石川県立野々市明倫高等学校

※（ ）内は兼務教員等で、外数

(14) 石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学生数			教員数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
18	139	123	262	57	8	65	31
19	199	199	398	59	7	66	31
20	260	259	519	59	7	66	30
21	249	282	531	57	8	65	28
22	240	306	546	56	10	66	28

資料：石川県立大学

(15) 石川県立大学学科別学生数

学部

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学部名	学科名	1年	2年	3年	4年	総数
18	生物資源 環境学部	総数	134	128	—	—	262
		生産科学科	43	42	—	—	85
		環境科学科	46	43	—	—	89
		食品科学科	45	43	—	—	88
19	生物資源 環境学部	総数	136	133	129	—	398
		生産科学科	47	42	40	—	129
		環境科学科	47	46	43	—	136
		食品科学科	42	45	46	—	133
20	生物資源 環境学部	総数	131	133	133	122	519
		生産科学科	43	44	43	37	167

		環境科学科	43	47	46	41	177
		食品科学科	45	42	44	44	175
21	生物資源 環境学部	総 数	132	131	142	126	531
		生産科学科	44	43	49	39	175
		環境科学科	44	43	47	45	179
		食品科学科	44	45	46	42	177
22	生物資源 環境学部	総 数	139	132	144	131	546
		生産科学科	45	44	45	43	177
		環境科学科	48	44	51	41	184
		食品科学科	46	44	48	47	185

資料：石川県立大学

大学院

5月1日現在（単位：人）

年度	研究科名	学科名	1年	2年	3年	総数
21	生物資源環境学 研究科	総 数	33	—	—	33
		博士前期課程	25	—		25
		生産科学専攻	3	—		3
		環境科学専攻	6	—		6
		食品科学専攻	9	—		9
		応用生命科学専攻	7	—		7
		博士後期課程	8	—	—	8
		自然人間共生科学専攻	5	—	—	5
		生物機能開発科学専攻	3	—	—	3
22	生物資源環境学 研究科	総 数	34	33	—	67
		博士前期課程	34	25		59
		生産科学専攻	8	3		11
		環境科学専攻	8	6		14
		食品科学専攻	8	9		17
		応用生命科学専攻	10	7		17
		博士後期課程	—	8	—	8
		自然人間共生科学専攻	—	5	—	5
		生物機能開発科学専攻	—	3	—	3

資料：石川県立大学

(16) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
16	15	615	42	657	44	7	51	6
17	15	594	42	636	45	6	51	6
18	15	596	43	639	45	5	50	9
19	15	557	43	600	50	6	56	12
20	15	526	42	568	49	6	55	12
21	15	475	40	515	49	6	55	12
22	15	476	41	517	50	7	57	12

資料：金沢工業高等専門学校

(17) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	総 数
19	総 数	106	128	112	125	129	600
	電 気 工 学 科	—	—	—	—	1	1
	機 械 工 学 科	36	47	47	48	52	230
	電 气 情 報 工 学 科	35	44	37	42	48	206
	国際コミュニケーション情報工学科	35	37	28	35	28	163
20	総 数	118	109	114	107	120	568
	電 气 工 学 科	—	—	—	—	—	—
	機 械 工 学 科	44	36	46	46	47	219
	電 气 情 報 工 学 科	38	39	33	33	39	182
	国際コミュニケーション情報工学科	36	34	35	28	34	167
21	総 数	85	110	104	113	103	515
	電 气 電 子 工 学 科	29	—	—	—	—	29
	機 械 工 学 科	34	43	36	47	43	203
	電 气 情 報 工 学 科	—	33	36	32	32	133
	グローバル情報工学科	22	—	—	—	—	22
	国際コミュニケーション情報工学科	—	34	22	34	28	118
22	総 数	121	83	102	105	106	517
	電 气 電 子 工 学 科	40	27	—	—	—	67
	機 械 工 学 科	42	33	40	38	42	195
	電 气 情 報 工 学 科	—	1	31	35	31	98
	グローバル情報工学科	38	20	—	—	—	58
	国際コミュニケーション情報工学科	1	2	31	32	33	99

資料：金沢工業高等専門学校

(18) 金沢工业大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
16	6,840	481	7,321	281	27	308	180
17	6,800	488	7,288	293	32	325	179
18	6,798	499	7,297	296	32	328	175
19	6,681	532	7,213	308	32	340	171
20	6,813	551	7,364	309	31	340	172
21	6,724	549	7,273	310	30	340	176
22	6,189	486	6,675	302	28	330	177

資料：金沢工业大学

(19) 金沢工業大学学科別学生数

5月1日現在 (単位:人)

年度	学部・学科名等		1年次	2年次	3年次	4年次	その他	計		
22	学部	工学部	機 械 工 学 科	261	298	249	214	—	1,022	
			ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	148	135	133	111	—	527	
			航 空 シ ス テ ム 工 学 科	66	76	78	57	—	277	
			電 気 電 子 工 学 科	235	195	181	128	—	739	
			情 報 通 信 工 学 科	82	61	61	81	—	285	
			情 報 工 学 科	1	5	48	220	—	274	
			機 械 シ ス テ ム 工 学 科	—	—	—	1	—	1	
			物 質 シ ス テ ム 工 学 科	—	—	—	1	—	1	
			先 端 材 料 工 学 科	—	—	—	—	—	0	
			建 築 学 科	—	—	—	1	—	1	
		環境・建築学部	環 境 土 木 工 学 科	42	58	59	58	—	217	
			建 築 学 科	181	162	168	162	—	673	
			建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科	49	48	62	84	—	243	
			バ イ オ 化 学 科	—	2	7	65	—	74	
			環 境 化 学 科	1	1	4	61	—	67	
		情報学部	メ デ ィ ア 情 報 学 科	157	156	111	—	—	424	
			心 理 情 報 学 科	58	58	36	—	—	152	
			情 報 経 営 学 科	31	38	32	—	—	101	
			情 報 工 学 科	272	201	178	—	—	651	
		バイオ・化学部	応 用 バ イ オ 学 科	126	105	100	—	—	331	
			応 用 化 学 科	103	102	64	—	—	269	
		情報フロンティア学部	メ デ ィ ア 情 報 学 科	1	—	12	126	—	139	
			生 命 情 報 学 科	—	1	9	47	—	57	
			心 理 情 報 学 科	—	1	6	74	—	81	
			情 報 マ ネ ジ メ ン ト 学 科	—	—	10	59	—	69	
	計			1,814	1,703	1,608	1,550	—	6,675	
	大学院	修士課程	機 械 工 学 専 攻	66	61	—	—	—	127	
			環 境 土 木 工 学 専 攻	14	9	—	—	—	23	
			情 報 工 学 専 攻	34	9	—	—	—	43	
			電 气 電 子 工 学 専 攻	55	31	—	—	—	86	
			シ ス テ ム 設 計 工 学 専 攻	25	17	—	—	—	42	
			バ イ オ ・ 化 学 専 攻	33	29	—	—	—	62	
			建 築 学 専 攻	42	34	—	—	—	76	
			高 信 賴 も の づ く り 専 攻	2	4	—	—	—	6	
			ビ ジ ネ ス ア キ テ ク ト 専 攻	27	7	—	—	—	34	
			知 的 創 造 シ ス テ ム 専 攻	63	—	—	—	—	63	
		博士課程	材 料 設 計 工 学 専 攻	—	—	—	—	—	0	
			臨 床 心 理 学 専 攻	7	5	—	—	—	12	
			計	368	206	0	0	0	574	
			機 械 工 学 専 攻	—	1	1	—	—	2	
		専攻科	環 境 土 木 工 学 専 攻	—	2	—	—	—	2	
			情 報 工 学 専 攻	1	—	—	—	—	1	
			電 气 電 子 工 学 専 攻	1	—	1	—	—	2	
			シ ス テ ム 設 計 工 学 専 攻	—	2	1	—	—	3	
			バ イ オ ・ 化 学 専 攻	—	2	—	—	—	2	
			建 築 学 専 攻	—	—	—	—	—	0	
			高 信 賴 も の づ く り 専 攻	2	—	1	—	—	3	
			材 料 設 計 工 学 専 攻	—	—	1	—	—	1	
			計	4	7	5	0	0	16	
	専攻科			7	—	—	—	—	7	
	計			2,193	1,916	1,613	1,550	0	7,272	
	研究生(学部)			—	—	—	—	13	13	
	研究生(大学院)			—	—	—	—	5	5	
	科目等履修生(学部)			—	—	—	—	13	13	
	科目等履修生(大学院)			—	—	—	—	7	7	
	計			2,193	1,916	1,613	1,550	38	7,310	

VI. 生涯学習

1. 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

「まちづくりは人づくりから」を基本理念に、生涯にわたる学習活動を振興するための環境づくりに努め、併せて、青少年の豊かな心を育み、人権を尊重した地域社会の形成と家庭教育力の向上をめざす。

(2) 重点事項

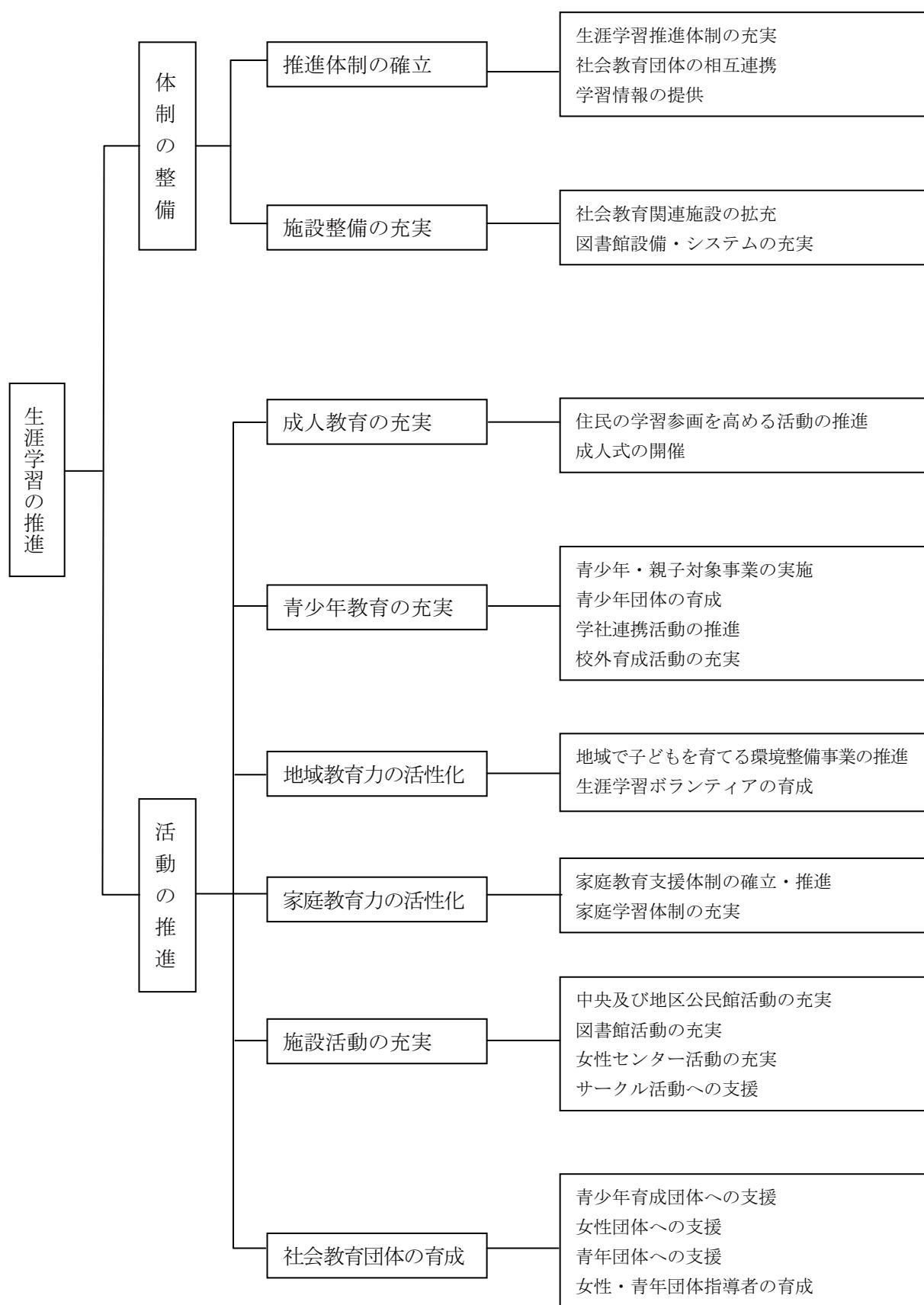
ア. ふれあいと活力に満ちた生涯学習社会の構築を図る。

- ① 教育ユニバーサルプラン中間答申を踏まえた、生涯学習推進体制の充実に努める。
- ② 町民の生涯学習による自己啓発活動を支援し、一人ひとりが輝く共生と協働の地域社会づくりに努める。
- ③ 地域の歴史文化や社会的課題を学ぶ場と町民の実践の場の充実を図り、地域文化の発信とふるさと意識の向上に努める。
- ④ 大学と連携した事業を充実し、町民参画による生涯学習まちづくり活動の発展に努める。
- ⑤ 生涯学習社会の構築を図るため、町民の学習成果を生かす生涯学習ボランティアの育成と生涯学習情報の提供に努める。
- ⑥ 施設環境の整備と施設職員の資質の向上を図り、地域コミュニティ活動と生涯学習活動の核となる施設運営に努める。
- ⑦ 町民の教育・文化の向上を図るため、図書館活動の充実に努める。

イ. 子どもたちの豊かな心を育む地域・家庭教育力の活性化を図る。

- ① 情報化社会に対応した健全な社会秩序の形成をめざし、地域団体の連携を強め、青少年の健全育成活動と社会環境浄化活動の推進に努める。
- ② 家庭教育力の向上を図るため、支援体制の確立と啓発活動に努める。
- ③ 地域社会と学校の協力体制を確立し、放課後の子どもの安全を守る活動や居場所づくりの充実に努める。
- ④ 子どもを地域全体で育む気運を高め、伝統芸能継承活動や学校外活動の充実に努める。
- ⑤ 地域社会の教育力を高めるため、育成団体の指導と支援に努める。

2. 生涯学習施策体系



(1) 体制の整備

ア. 推進体制の確立

① 生涯学習推進体制の充実

- ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
- ・社会教育委員会議の開催

② 各種社会教育団体への加入と連携

- ・国… 全国生涯学習市町村協議会
- ・県… 県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館連合会

③ 学習情報の提供

- ・「生涯学習情報」の町広報紙掲載（年3回、7・10・1月）
- ・「公民館サークル情報」の発行（年1回、5月）
- ・町広報紙、町ホームページ、町地域ポータルサイト、FMエヌワン等の活用

イ. 施設の充実

① 社会教育関連施設の整備

- ・施設の効率的な修繕
- ・新図書館建設に向けた調査研究

② 社会教育関連施設の運用の工夫

- ・公共施設予約案内システムの運用

(2) 活動の推進

ア. 成人教育の充実

① ののいち町民大学校事業の実施

・コミュニティ・カレッジの開講

目的	内容	企画委員会	場所
大学協力講師等による町民向け講座を開設し、町民の自主的な運営によって、学習機会の拡大とまちづくり事業への参画意識の高まりを図る。	金沢工業大学、石川県立大学、放送大学石川学習センター、金沢大学、また、郷土史家等の協力により、前・後期 16 講座を開講。交流会を 4 回程度実施。	公募者等 10名程度	中央公民館他

・インターネット町民塾の開講 ((財)情報文化振興財団へ委託)

目的	内容	運営委員会	ボランティア
インターネットを用いた野々市町民のための生涯学習の場として、個々の教養、IT スキルの向上及び住民間のコミュニケーションの促進を図る。	インターネットを活用した在宅学習とネット講座の開設、一部の講座ではスクーリング形式でを開講。 ・学習者としての参画 ・講師としての参画 ・ボランティアとしての参画	野々市町及び金沢工業大学より各3名	カメリアパルが教材製作支援 随時募集

・マイ・タウン塾の開講

目的	内容	実施回数等	場所
生涯学習への参加意欲が高まる中、町内会と連携をとりながら学習機会の提供。	テーマや講師を提案し、希望町内会の会館などで出前講座を実施。	1 町内会につき 1 回	各町内会集会所等

・ののいち町民大学校公開講座

本事業を広く町民に公開し、学習機会の充実と学習意欲の喚起を図る。

事業	内容	実施回数等	場所
放送大学石川学習センター開放講座	放送大学の人的資源を地域に開放する一般向け教養講座。	年 2 回程度	文化会館他

② 成人式の開催

目的	日 時	内 容	場 所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	平成 23 年 1 月 9 日(日) 午後 2 時から	式典等	町民体育館



コミュニティ・カレッジ



成人式

イ. 青少年教育の充実

—「青少年対策機構図」は別途資料参照—

① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を越えた仲間づくりを進める。

事業名	対象	募集定員	内容	場所
まなびの教室 (毎月第2土曜日)	小学生	85人	料理・水彩画・絵本・ものづくりの4教室	地区公民館
とびだせ！アウトドアKIDS	小学3年～小学6年生	40人	ののいち自然教室(年3回、日帰り)	白山麓
学びのサポーターとつくる夏休み体験	小学生	150人	手作り教室、体験教室など	地区公民館など
立志式	中学2年生	416人	11月11・12日開催、講演会の開催	各中学校の体育馆
青少年海外派遣事業	中・高校生	未定	石川少年の翼への参加補助(派遣は隔年実施)	大韓民国、中国、ロシア

② 親子対象事業の実施

心の教育事業として、親子が共同体験できる事業を実施し、家庭や地域の教育力の充実を図る。

事業名	内容	場所
親子音楽会	(財)野々市町情報文化振興財団に事業委託し年2回程度実施予定	町内公共施設
野々市じょんから踊り講習会	7月上旬から下旬にかけて5日間開催	地区公民館 文化会館

③ 青少年団体の育成

学校外活動の充実を図るため、定期的に活動する団体の育成を推進する。

- ・中央公民館事業 … フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」、ジュニアリーダー会「響」

④ 校外育成活動の充実

町少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”町民会議を中心となって、官民一体となった育成活動を展開する。

	組織	主な事業
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員14人 育成指導員73人	街頭巡視活動、非行防止S&Sネット懇話会、万引き対策、コンビニ協議会、非行相談活動、インターネット巡視活動など
“ののいちっ子を育てる”町民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成59団体、役員・常任委員28人	愛と和のひと声運動、町ぐるみ美化清掃、県下一斉グッドマナーキャンペーン、社会環境浄化活動、携帯電話対策事業、啓発活動など

⑤ 体験活動情報提供事業の推進

- ・情報交流館こどもセンターを拠点に、体験情報の収集と発信



とびだせ！アウトドアKIDS



立志式



町ぐるみ美化清掃

ウ. 地域教育力の活性化

① 放課後・週末における子どもの居場所作りの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施する。

事業名	校区
野々市小学校放課後ふれ愛ルーム	野々市小学校
菅原小学校放課後子ども教室	菅原小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
御園小学校放課後子ども教室	御園小学校
富陽小学校放課後子ども教室	富陽小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全町

② 生涯学習ボランティアの育成

事業名	目的	内容
学びのサポーター登録・活用事業	子どもたちの体験活動を充実させるため「学びのサポーター」を募集・登録し、学社連携を強化しながらその活用を図る。	募集・登録・紹介事業 公民館活用事業 学校活用事業 学社連携活用事業



放課後子ども教室



学びのサポーターとつくる夏休み体験

エ. 家庭教育力の活性化

① 家庭教育支援体制の確立

- ・家庭教育推進協議会の開催
- ・家庭教育サポーターの設置

地域において保護者に対する支援活動

② 学習体制の整備

幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供する。

事 業 名	対 象	参加予定人数	回数	内 容
家庭教育学級 (全小中学校 PTA)	小・中学生 の保護者	1回あたり 30人程度	1校当たり 2~3回	町 PTA 連合会に委託 家庭教育の向上をめざし、保護 者の学習機会の拡充を図る。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	園児の保護 者	1回当たり 50人程度	1園当たり 各1回	幼児期の家庭教育の重要性を学 ぶ。
就学時健診子育て講座 (全小学校)	就学前児童 の保護者	1回当たり 100人程度	5 回 <small>(1校当たり1回)</small>	就学時健診の機会を利用して、 全ての保護者へ学習機会を提供 する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学 前の生徒の 保護者	1回当たり 200人前後	2 回 <small>(1校当たり1回)</small>	中学校入学説明会の場を利用して、 全ての保護者へ学習機会を 提供する。



就学時健診子育て講座



幼児家庭教育講座

オ. 施設活動の充実

① 中央公民館事業（活動）の充実

・ののいちマナビフェスタ 2010 の開催

目的	内 容	期 間	会 場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、活動発表、講演会、模擬店、イベント等	10月23日 (土)から 11月3日 (火)	中央公民館 カメリア

・高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内容
野々市寿大学校	60歳以上	43人	5月から月2回程度。 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の卒業生	146人	コーラス・ちぎり絵・俳句・園芸・囲碁・書の6コースを実施 院生による自主活動

・自主サークル活動の充実

寿大学校同窓会活動への支援…心寿会

② 地区公民館活動の充実

地域住民が心身ともにさわやかで明るい活力に満ちた生活が築けるように、住民相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、健康の増進に寄与できる公民館活動を行う。

・主な地区公民館事業

◎ 野々市公民館

生涯学習のテーマ：地域と連帶

期 日	事 業 名
4月	グラウンドゴルフ大会
5月	視察研修会
6・7月	地域デビュー応援セミナー
9月	エコライフ講座
10月	本町地区運動会
10・11月	地域デビュー応援セミナー
11月	ニュースポーツ大会
1月	子育て中ママの手芸教室
2月	文化教養講座

◎ 富奥公民館

生涯学習のテーマ：文化と教養

期 日	事 業 名
5月	視察研修会
5月	グラウンドゴルフ大会
7月	虫送り大会
10月	富奥地区運動会
11月	ののいち学講座
11月	ボウリング大会
12月	キンボール大会
1月	健康サロン



アイビー世代のいきいき講座



キンボール大会

◎ 郷 公民館

生涯学習のテーマ：自然と環境

期 日	事 業 名
5月	高齢者生きがい教室①
6月	花いっぱい運動
7月	グラウンドゴルフ大会
9月	健康講座
9月	ののいち学講座
10月	郷地区運動会
10月	高齢者生きがい教室②
11月	日帰り研修会
11月	室内軽スポーツ
2月	ボウリング大会
2月	時局講演会

◎ 押野公民館

生涯学習のテーマ：健康と安全

期 日	事 業 名
6月	視察研修会
7月	グラウンドゴルフ大会
10月	押野地区運動会
11月	室内ニュースポーツ大会
11月	クリスマス講習会
12月	お正月講習会
1月	わら工作の会
2月	新春麻雀大会
2月	ボウリング大会
2月	リラックス講座
2月	いきいきゼミナール



花いっぱい運動



リラックス講座

③ 図書館活動の充実

・事業内容

事 業 項 目	事 業 概 要
資料の収集・提供	電算システムのよりよい活用を図り、資料を選択、収集、整理保存し、またインターネットによる蔵書検索サービスを行う。
積極的な情報提供	図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。また利用者及び、町内外各位への積極的な情報提供を行う。
サービスの地域格差の是正	移動図書館車の運行と団体貸出、配本所を充実する。
郷土理解の情報提供	町民の郷土理解のため情報の収集と提供にとめる。講演を開催し、町内外の歴史や文学について学習する機会を提供する。
児童へのサービス	乳児も含め、児童にすぐれた出版物をふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書の生活化・習慣化に寄与するため、読書普及として、読書会活動の推進、グループの育成を図る。 0歳児健診で、メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝えるブックスタートボランティアの活用、育成を図る。
学校図書館の支援	学校図書館司書との連携を図り、活動の支援につとめる。

・主な活動計画

事業名	対象	実践活動の内容	実施場所
おはなし会 (月2回)	幼児 小学生	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居など	町立図書館
移動図書館車	町民	約2,000冊の図書を積載、町内20ヶ所に月1回運行し貸出を行う	
教養講座 (全3回)	一般	テーマ「加賀の伝統文化を探る・IV」の講演	中央公民館
ブックスタート (月2回)	乳児 保護者	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター
0、1、2歳児のための おはなし会 (年2回)		乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び、わらべうた等。乳幼児を連れた保護者が気軽に図書館を利用する機会をつくる。	町立図書館
チャリティー古本市 (年1回)	一般	蔵書として活用しない寄贈図書や古い雑誌等を譲渡する。	町立図書館



おはなし会



ブックスタート

④ 女性センター事業の充実

女性の日常生活に必要な援助を与え、その福祉の増進を図るための事業を推進する。

- ・主な事業

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
5月	そうめんア・ラ・カルト	8～9月	モラ作品作り
6月	アクセサリー・人形作り	10月	AED講習会
7～8月	ソフトエアロビクス、ヨガ	11月	ミニ盆栽作り
8月	消費者講座<認知症について>	12～1月	郷土料理<大根寿司>
9月	健康教室<歌・料理>	2月	トンボ玉作り

⑤ サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学習サークル、グループの登録要綱等を整備し、町民の自発的な学習と仲間づくりを支援する。

- ・サークル、グループ登録状況(平成22年5月現在)

施 設 名	登 錄 数
野々市公民館	34団体
富奥公民館	12団体
郷 公民館	14団体

施 設 名	登 錄 数
押野公民館	13団体
女性センター	24団体
青少年センター	2団体

計 98団体

カ. 社会教育団体の育成

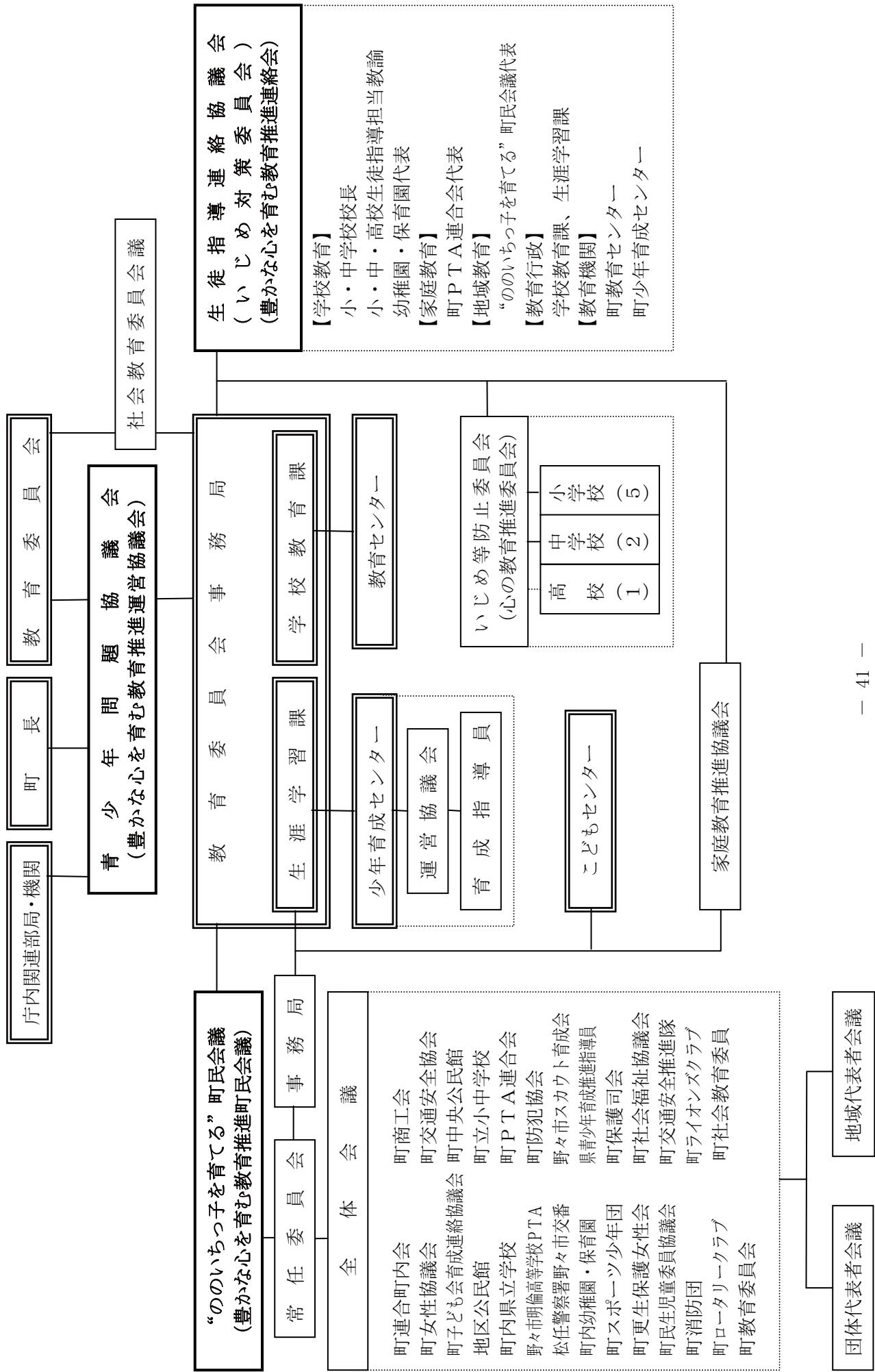
① 補助団体一覧

部門	団 体 名	代 表 者	設立年	構成員数(人)	下部団体
育成 団体	子ども会育成連絡協議会	竹本 忠利	昭和42年	3,500	57
	PTA連合会	室山 統	昭和38年	4,043	7
	野々市スカウト育成会	栗 貴章	昭和44年	123	5
女性 団体	女性協議会	藤多 典子	昭和52年	700	
	生活学校	進村 五月	昭和46年	19	
	各種女性団体連絡協議会 (エルネットワーク)	藤村 恵子	平成14年	1,021	7
青年 団体	青年ボランティア団体 RISE	八島 潤一	平成14年	13	
公民 館 団 体	公民館連合会	魚野 孝次郎	平成17年	11	

② 青年団体指導者の育成

- ・青年ボランティアリーダー県外研修への補助

青少年対策機構図（豊かな心を育む教育推進機構構図）



3. 生涯学習施設

(1) 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(m ²)	施 設 内 容	建設年月
中央公民館	本町 2 丁目 1-20	248-0521	2,763.19	ホール・舞台、会議室(6)、研修室(2)、学習室(2)、調理実習室、視聴覚室、和室(2)	S52. 7
野々市公民館	中央公民館に併設				
富奥公民館	中林 5 丁目 3	248-0829	853.62	会議室(2)、和室(2)、集会室、研修室、調理実習室	S51. 12
郷公民館	字田尻町 94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室(2)、和室(2)、調理実習室	H 2. 3
押野公民館	押野 3 丁目 70	248-2839	709.58	集会室(2)、学習室、研修室、調理実習室、和室(2)	S61. 3
青少年センター	住吉町 17-10	246-0250	315.07	会議室、調理実習室、研修室(2)	S54. 3
女性センター	稻荷 4 丁目 155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室(2)、調理実習室	S58. 1
町立図書館	本町 2 丁目 14-6	248-8099	788.81	閲覧室、学校図書館支援室(ボランティア活動室)、学習室	S42. 3

(2) 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
中央公民館 野々市公民館 富奥公民館 郷公民館 押野公民館	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する日の 3 ヶ月前から 7 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
青少年センター	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する 7 日前迄に使用許可申請書により中央公民館へ申し込む。(休館日を除く) ② 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前 9 時～ 午後 10 時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する 3 ヶ月前から 7 日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
町立図書館	火～金曜日 午前 10 時～ 午後 7 時 土・日曜日 午前 10 時～ 午後 5 時	月曜日、祝日、 年末年始	① 貸出は一人 5 冊まで ② 期間は 2 週間

(3) 施設利用状況（平成21年度）

名称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	3, 038	51, 271
富奥公民館	864	15, 404
郷公民館	845	11, 153
押野公民館	838	13, 779
青少年センター	221	4, 544
女性センター	1, 321	15, 048

町立図書館 (移動図書館、配 本書の利用含 む)	登録人数 (人)	貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		蔵書冊数 (冊) 76, 754	
	15, 315	28, 509		94, 037			
	中学生以下	中学生以下	4, 240	中学生以下	15, 521		
	一般	一般	24, 269	一般	78, 516		

(4) 町立図書館分類別蔵書構成（平成22年3月末現在）

		平成21年度購入冊数(冊)	蔵書数(冊)	構成比(%)
総冊数		2, 978	76, 754	100. 0
開架		—	39, 744	51. 8
閉架		—	15, 537	20. 2
館外		—	21, 473	28. 0
内訳	0 総記	34	1, 539	2. 0
	1 哲学	39	1, 777	2. 3
	2 歴史	204	4, 555	5. 9
	3 社会科学	233	4, 892	6. 4
	4 自然科学	167	2, 321	3. 0
	5 技術	201	3, 224	4. 2
	6 産業	67	1, 208	1. 6
	7 芸術	146	3, 286	4. 3
	8 言語	24	656	0. 9
	9 文学	500	23, 562	30. 7
	児童図書	1, 287	24, 731	32. 2
	郷土資料	76	5, 003	6. 5

開架：本館閲覧室（2階含む）所蔵の分

閉架：本館書庫、事務室、学校図書館支援室所蔵の分

館外：移動図書館、配本所、館外の書庫の分

VII. 文化

1. 基本方針及び重点目標と努力事項

(1) 基本方針

文化活動を通じて、町民一人ひとりの創造性と個性を育み文化の享受を図るとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める環境整備に努めることによって、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざす。

(2) 重点事項

ア. 歴史的資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

- ① 国指定史跡である御経塚遺跡や末松廃寺跡など歴史的資源の活用を図る。
- ② 特別展や体験教室、出張講座等をとおして郷土愛を醸成する。
- ③ 自主的な文化財ボランティアの育成を図る。
- ④ 国指定史跡である御経塚遺跡からの出土品について国の重要文化財に指定することを目指す。

イ. 文化財の保護・活用

- ① 各種文化財の調査、収集、研究を推進する。
- ② ふるさと歴史館や史跡公園など関係施設の整備・充実を図る。
- ③ 保存史料をデジタル化し、文化財データベースの活用を図る。
- ④ 郷土芸能の伝承活動団体に対する育成と支援に務める。

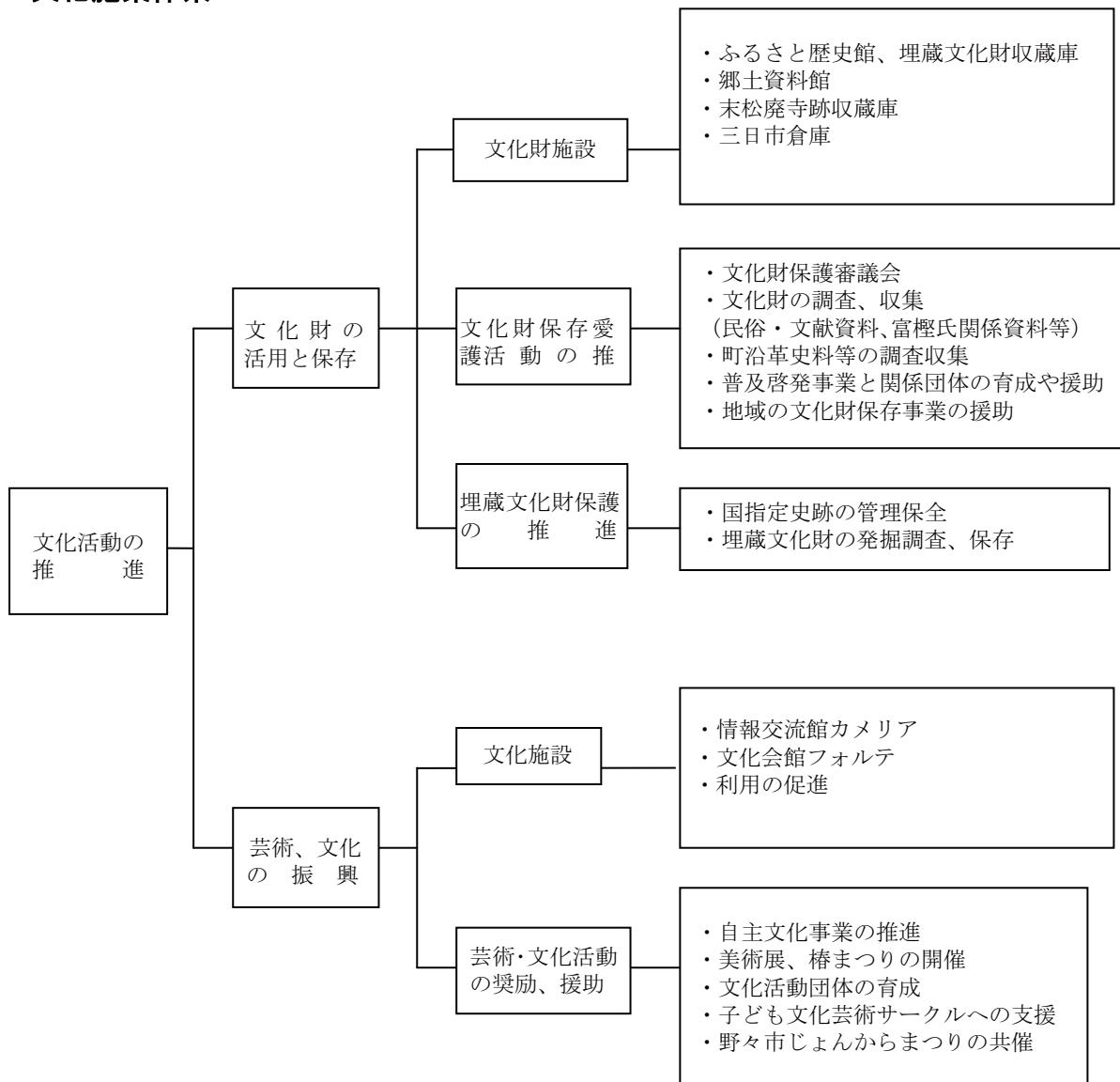
ウ. 文化に親しむ芸術文化情報の提供

- ① 優れた音楽、演劇などの鑑賞の機会拡充に努める。
- ② 魅力ある美術展、じょんからまつり、椿まつりの開催に務める。
- ③ 町内にゆかりのある芸術家、文化団体への支援を推進する。
- ④ 町民の自主文化活動の推進に努める。

エ. 文化会館、情報交流館の管理運営と町民が文化に親しみやすい施設の整備

- ① 指定管理者による効率的な管理運営に務める。
- ② 文化会館、情報交流館を町民が文化の発信施設として利用できやすい整備充実を図る。

2. 文化施策体系



(1) 文化財の活用と保存

ア. 文化財施設

① ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫（指定管理者：（財）野々市町公共施設管理事業団）

概 要 縄文時代後～晩期の大集落跡である御経塚遺跡をはじめ、弥生時代～中世の出土品や富樫氏関係資料・近世文献資料の展示。また文化財資料の整理・収蔵。

区分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m ²	509.02 m ²	1,640.41 m ²
建築面積	344.18 m ²	180.00 m ²	524.18 m ²
延床面積	822.30 m ²	302.00 m ²	1,124.30 m ²
構 造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所 在 地 野々市町御経塚1丁目182番地

観覧時間 午前10時～午後4時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

② 郷土資料館（指定管理者：（財）野々市町公共施設管理事業団）

概 要 町指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、農具及び明治～昭和初期の生活道具を展示。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町屋、間取りと構造は農家となる複合構造である。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えている。その規模は、間口7間（12.6m）、奥行14間（25.2m）である。

面 積 敷地面積 964.76 m²、建築面積 408.58 m²（旧魚住家住宅 280.85 m²・展示棟 127.71 m²）

延床面積 611.08 m²（旧魚住家住宅 335.63 m²・展示棟 203.45 m²・土蔵 72 m²）

構 造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中2階）・展示棟 鉄骨造2階

移築年月日 平成7年3月1日

所 在 地 野々市町本町3丁目19番24号

展示時間 午前10時～午後6時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館



郷土資料館

③ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要 白鳳期（7世紀後半）の創建とされる末松廃寺跡から出土した遺物の収蔵。

所在 地 鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m²、総床面積 129.73 m²。
野々市町末松2丁目（史跡末松廃寺跡）地内

④ 三日市倉庫

概 要 町内埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物、及び町内で収集された民具、農具、生活用具等を保管。

コンクリートブロック造瓦葺一部木造カラー鉄板平屋建
敷地面積 393.65 m²、建築面積 231.0 m²。

所在 地 野々市町字三日市町182-1

イ. 文化財保存愛護活動の推進

① 文化財保護審議会

町内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

② 文化財の保存・調査・収集

- 民具、農具、生活用具等の収集
- 天然記念物、建造物、伝承の調査
- 郷土芸能の伝承と保存
- 体験、昔話の収集、記録
- 古文書等文献資料
- 行政資料を中心とした野々市町の沿革に関する資料
- 富樫氏関係事業
- 富樫氏関係資料の収集



全国に分布する富樫一族の調査

古代体験学習

(ふるさと歴史館)

③ 普及啓発事業と関係団体の育成や援助

- 郷土資料館事業
「野々市町の昔を語る会」の開催（日程未定）
- 普及啓発事業
古代体験学習（土器作り・勾玉作りなど）、文化財関係企画展示の実施
重要文化財となる「御経塚遺跡出土品」と御経塚遺跡の概要を紹介する冊子を刊行
- 関係団体の育成・援助
富樫卿奉賛会・野々市の昔を語る会

④ 地域の文化財保存事業の援助

郷土芸能伝承（獅子舞・虫送り・野菜みこし・じょんから踊り）

ウ. 埋蔵文化財保護事業の推進

① 国指定史跡の管理・保全

史跡末松廃寺跡、史跡御経塚遺跡



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡

② 埋蔵文化財の発掘調査、保存

事業名	遺跡名	遺跡概要	調査面積
北西部土地区画整理事業関係 発掘調査・出土品整理事業	三日市A・三日市ヒガシ タンボ・二日市イシバ チ・徳用クヤダ遺跡	弥生・古代・中世集落跡	11,100 m ²
町営住宅建設事業関係発掘調 査・出土品整理事業	二日市イシバチ遺跡	弥生・中世集落跡	500 m ²
出土品整理事業（重文指定予 定）	御経塚遺跡	縄文	—
出土品整理・報告書刊行事業	郷クボタ遺跡・三日市A 遺跡	古代・中世	—



北西部発掘調査
(二日市イシバチ遺跡・平成21年)

工. 指定文化財一覧表

① 国指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
建造物	重要文化財	喜多家住宅	2棟	野々市町本町3丁目8-11	喜多直次	昭46.12.28
史 跡	記念物	末松廃寺跡		〃 末松2丁目地内	野々市町	昭14.9.7
〃	〃	御経塚遺跡		〃 御経塚1丁目549	〃	昭52.3.8
考古資料	有形文化財	御経塚遺跡出土品	4,219 点	野々市町御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平22.6.29

② 町指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
絵画	有形文化財	馬の図(富樫政親筆)	1幅	野々市町扇が丘7-1	金沢工業大学	昭45.3.10
書跡	〃	顯尊上人消息	1通	〃 本町3丁目13-20	照台寺	昭42.2.11
〃	〃	前田利長書状	1通	〃 本町3丁目8-11	喜多直次	昭45.3.10
〃	〃	前田利常書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	宿送人足伝馬之書	1通	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	〃
〃	〃	村御印(野々市村)	1通	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	〃	〃
〃	〃	〃(上林村)	1通	〃 上林3丁目124	小林喜一	昭53.3.12
〃	〃	〃(下林村)	1通	〃 下林4丁目153	下林町内会	〃
〃	〃	〃(末松村)	1通	〃 末松1丁目56	古源一榮	〃
〃	〃	宣如上人消息	1通	〃 本町3丁目11-14	水毛生貫一	昭61.4.22
〃	〃	村御印(二日市村)	1通	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	〃
〃	〃	〃(長池村)	1通	〃 字長池29	長井博	〃
〃	〃	〃(藤平田新村)	1通	〃 藤平128	進村栄信	〃
芸能	民俗文化財	野々市じょんから節		〃 本町2丁目1-20	野々市じょんから節保存会	昭42.2.11
史跡	記念物	住吉の宮		〃 本町2丁目(布市神社)	布市神社	〃
〃	〃	徹通和尚荼毘の墓		〃 太平寺1丁目1-1	太平寺町内会	〃
〃	〃	富樫館跡		〃 本町2丁目地内	野々市町	昭45.3.10
〃	〃	農事社跡		〃 住吉町地内	〃	〃
天然記念物	〃	大公孫樹		〃 本町2丁目(布市神社)	布市神社	昭42.2.11
〃	〃	上林の大椎		〃 上林3丁目71(林郷八幡神社)	林郷八幡神社	昭53.3.12
典籍	有形文化財	光松山八幡宮縁起 (巻子本)	3巻	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
〃	〃	光松山八幡宮縁起 (冊子本)	3冊	〃	〃	〃
書跡	〃	徳用村肝煎仕平願書	1通	〃	〃	〃

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
書 跡	有形文化財	金谷御殿御用方赤井喜内・山崎遐福翁覚	1 通	野々市町御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
"	"	元十村役瀬尾孫三 手代建部次吉請書	1 通	"	"	"
"	"	建部次吉通知状	1 通	"	"	"
"	"	里正棟取瀬尾孫三願書	1 通	"	"	"
"	"	瀬尾孫三書状	1 通	"	"	"
"	"	元御住居御用弁方書状	1 通	"	"	"
"	"	建部次吉書状	1 通	"	"	"
"	"	建部次吉書状	1 通	"	"	"
"	"	氏神社神社号願	1 通	"	"	"
"	"	前田家家扶代多田一書状	1 通	"	"	"
"	"	八幡大神四文字ノ由来記	1 通	"	"	"
"	"	八幡大神の神号額	1 幅	"	"	"
"	"	亀の字	1 幅	"	"	"
"	"	野草幽号各自香	1 幅	"	"	"
歴史資料	"	鳥居	1 基	" 字徳用町501番地	光松八幡神社	"
"	"	三社の題額	1 面	"	"	"
"	"	八幡大神の神号額	1 面	" 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	"
絵 画	"	猿の絵	1 幅	"	"	"
"	"	扇面	1 幅	"	"	"
"	"	宝の玉の図	1 幅	"	"	"
彫 刻	"	木造狛犬	1 対	" 字徳用町501番地	光松八幡神社	"
建造物	"	旧魚住家住宅 (現郷土資料館)	1 棟	" 本町3丁目19-24	野々市町	平5.2.16
"	"	水毛生家住宅 附 庭 園	3 棟	" 本町3丁目11-14	水毛生貫一	平8.1.25
工芸品	"	脇差(銘信長)	1 振	" 本町3丁目1-1	布市神社	平8.3.1
歴史資料	"	木造厨子	1 基	" 字三納191	日下日吉神社	平9.6.25
"	"	石造山王権現神像	1 軀	"	"	"
史 跡	記念物	経塚	1 基	" 御経塚2丁目335	野々市町	平12.5.26
	有形文化財	附 石像傳大土像	1 軀	" 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	"	"
書 跡	"	野代村御印	1 通	" 野代2丁目97	西川和昭	平14.7.4
歴史資料	"	古源家文書	414点	" 末松1丁目56	古源一榮	"
考古資料	"	和同開珎銀錢	1 点	" 末松1丁目68	高村宏	平19.2.22
考古資料	"	御経塚遺跡出土品	6,721 点	" 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平20.4.22

(2) 芸術文化の振興

ア. 文化事業の推進

① 花と緑ののいち椿まつり 2010 「5万都市 めざす椿の 愛と和のまち」

目的 愛と和の町民憲章に謳われている「郷土を愛し緑ゆたかな住みよい町づくり」を推進するため、町花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」の創出に寄与する。

開催日 平成22年3月20日（土）21日（日）

場所 野々市町文化会館フォルテ・教育センター・郷土資料館

内容

- ・アート・オブ・ツバキ（椿を題材とした作品展示）
- 生け花・盆栽・鉢植え・切り花・日本画・洋画・書・写真・工芸・
公開文学講演会・俳句・短歌・ジュニア椿絵画等
- ・椿オリジナルステージ（民謡・ダンス・軽音楽・コーラスなど、お楽しみ抽選会）
- ・花と緑の市（椿苗・盆栽・花苗・園芸資材等の即売）
- ・特産物市（町特産品等の即売・農業振興協議会によるヤーコン等の販売）
- ・お茶席（抹茶・煎茶）
- ・つばき食堂（各種飲食ほか）
- ・囲碁・将棋大会（自由対局・大会）
- ・イベントアラカルト

委託金 3,800,000円 （椿まつり実行委員会へ委託）



花と緑ののいち椿まつり 2010

② 野々市町美術展

町民の美術文化活動の振興とその鑑賞の機会を設ける。

期日	内容	場所
7月10日～7月19日	町民公募（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・ジュニア）	野々市町情報交流館

③ 芸術鑑賞教育

1) 平成21年度

●児童・生徒オーケストラ鑑賞教室

オーケストラアンサンブル金沢

6月4日(木) 野々市中学校全生徒(野々市・布水中学校隔年で実施) 595人

●スクールシアター

劇団コーロ「三びきの子ぶた」

6月23日(火) 町内5小学校5年生 473人

2) 平成22年度

●児童・生徒オーケストラ鑑賞教室

オーケストラアンサンブル金沢

6月10日(木) 布水中学校全生徒 611人

●スクールシアター

劇団みんわ座「影絵人形劇」

6月25日(火) 町内5小学校5年生 441人

④ 文化活動団体の育成

文化協会加盟団体

芸 術 文 化 團 體	団体名	代表者	設立年	会員数
	文化協会(16団体)	内村栄一	61年	1,149名
	① 野々市じょんから節保存会	久保昇	35年	68名
	② 菊花協会	南憲志	36年	24名
	③ 椿愛好会	宮崎昭男	49年	60名
	④ 美術文化協会	村井良樹	52年	79名
	⑤ 音楽文化協会	朝倉喜裕	52年	250名
	⑥ 華道協会	若島翠節	53年	75名
	⑦ 盆栽愛好会	星場外也	54年	34名
	⑧ 囲碁協会	西永正雄	57年	114名
	⑨ 将棋協会	鰐谷久太郎	58年	90名
	⑩ 読書会連絡協議会	魚住慧子	61年	28名
	⑪ 社交ダンス愛好会	山谷光輝	61年	48名
	⑫ 民謡協会	山口正昭	H元年	95名
	⑬ 俳句協会	小林清	3年	36名
	⑭ 茶道協会	安田光男	5年	84名
	⑮ 短歌協会	香城清子	7年	22名
	⑯ 能楽愛好会	富田孝	16年	42名

文化団体の育成・援助

- 補助金 野々市町文化協会（16団体）
- ジュニア文化・芸術サークル（4団体）
- 現代美術展ほか

イ. 文化施設

① 文化会館の大規模改修工事

昭和63年（1988）に開館した文化会館は、各設備の老朽化が進んでいる。会館設備の健全化を図るため、平成22年8月～翌年3月まで休館し、改修工事を実施する。

● 改修工事概要

- ・空調設備の更新（油焚→電気式）等
- ・舞台機構・照明設備、ホール音響設備の更新、ホール椅子貼替等
- ・外壁タイル補修、外部正面プラザ改修等

② 文化会館（指定管理者：（財）野々市町情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市町文化会館	本町5丁目4-1	248-8000	平成63.5	5,638 m ²

● 施設概要

<1階>

・大ホール ※音楽、舞踊、演劇、講習、集会、映画など多目的に利用できます。

収容人数 832人（椅子席804席、親子席18席、車椅子スペース10席分）

椅子席 1階 固定席 682席（うち難聴者用32席）

2階 固定席 122席

舞 台 プロセニアム（間口18m、高さ8m、スノコまでの高さ17.9m）

センターステージ（巾6.6m、奥行7m）

樂 屋 第1(洋)26m²9人用、第2(洋)29m²7人用、第3(洋)39m²15人用

リハーサル室 126m²

・ふれあいホール カーペットタイル敷き 326m²

※ステージの多分割機構及び吊下式移動パネルにより、多彩な空間構成が可能です。大ホールに準じた利用・展示会・レセプション等にも利用できます。

収容人数 移動椅子 300人

舞台機能 組立式ステージ

（巾7m、奥行12m、天井高5.3m、ステージ高0.3m・0.6m）

展示機能 吊下式パネル（大10枚、小2枚）

パントリー 18m² ※パーティーなどの準備室として利用できます。

・ミーティングルーム 57m² 収容定員 20人

・ふるさと展示コーナー 52m² ※町の歴史・文化・産業などを紹介するコーナーです。

・喫茶室 46m²

<2階>

- ・メディアルーム 56 m² 収容定員 20人
- ・カルチャールーム 121 m² 収容定員 48人
- ・セミナールーム 60 m² 収容定員 25人
- ・カンファレンスルーム 36 m² 収容定員 12人
- ・和室 18畳 2間
- ・茶室 6畳と3畳（内露地有り）

<駐車場>

- ・駐車可能台数 260台

● 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 每月第1・3水曜日（その日が祝日にあたる日は翌日）
年末・年始、その他特別の事由により臨時休館することがある。
- ・使用申込み方法
 - ① 使用する日の1年前の日に属する月の初日から使用する日の前3日まで使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。
 - ② 催し物を円滑に行うため、会館が指定する日に施設の使用方法など必要なことについて、係と事前打合せを行う。
(催し物のプログラム、入場券進行スケジュールなどの提出が必要)
 - ③ 使用料は、使用許可書の交付と同時に前納する。

● 利用促進と現況

大ホール (件)

使 用 内 訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
演劇	14	22	19	26	20	14
音楽	19	27	22	31	25	20
映画	5	6	2	2	1	1
式典・大会・研修・講演	49	35	35	27	31	23
芸能・舞踊・バレエ	14	3	4	8	10	15
その他	3	11	8	4	6	0
準備・リハーサル	107	101	98	95	102	71
計	211	205	188	193	195	144

小ホール

(件)

使 用 内 訳	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ピアノ発表・音楽コンサート	34	34	38	31	25	39
式典・大会・研修・講演	91	117	112	109	109	97
展覧会・展示販売	55	21	29	27	24	15
パーティ・レセプション	17	10	13	10	11	14
演劇・民謡・舞踊・映画	4	4	2	9	11	18
準備・リハーサル・その他	62	75	64	65	90	66
計	263	261	258	251	267	249

文化会館事業（文化会館は、平成22年8月3日～平成23年3月31日まで休館）

月	日	曜日	事業名	出演者等
5	29	土	「ベーゼンドルファー」演奏体験（全1回）	小学生以上のピアノ経験者 15名演奏
5 10	30 未定	日	演劇ワークショップ（全2回）	第1回一般住民10名 指導：劇団アンゲルス
6	14	月	ぬいぐるみミュージカル「ちびくろさんぽ」 (共催事業)	劇団 銀河鉄道 午前698名、午後230名
6	26	土	フォルテ・ジャズライブ ステージ onステージ	地元アマチュアジャズバンド 2組出演 参加者56名
7	24	土	フォルテ・バックスステージ・ツアー	町内住民を対象。舞台裏側などを案内
7	25	日	フォルテ・ふれあいコンサート	橋場香苗、堺洋子、黒崎奈保子他
11	27・28	土・日	BIG APPLE in Nonoichi2010 Jazz at K.I.T. (金沢工業大学で開催)	ニューヨークのジャズミュージシャンとムーンライト JAZZ オーケストラ ほか
9 2	12 未定	日	地域住民による演劇公演（カメリアで開催）	劇団アンゲルス 劇団n o n o
9 1	4 30	土 日	親子音楽会（全2回 カメリアで開催） (生涯学習課委託)	石川フィルハーモニックウインズ 鈴木敬（ピアノ）
—	—	日	ジュニアバンド活動支援（月2回、中央公民館）	小4～中2 12名 指導：ムーソラト JAZZ オーケストラ



B I G A P P L E in Nonoichi2009

③ 情報交流館（指定管理者：(財)野々市町情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
情報交流館カメリア	三納18街区1	227-6200	H17.1	2,798 m ²

● 施設概要

<1 階>

- ・キッズコーナー 90 m² 28人 PC12台
- ・インターネットコーナー 90 m² 18人 PC 6台
- ・メディア工房 65 m² 10人 PC 9台
- ・メディアスタジオ 18 m² 2人 PC 2台
- ・サテライトスタジオ 20 m²
- ・ラウンジ 60 m² 10人 貸出用 PC6台
- ・創作ギャラリー 42 m²
- ・財団事務所 60 m²

<2 階>

- ・ホール椿（1室利用） 100 m² 100人
- ・ホール椿（2室利用） 200 m² 200人
- ・ホール椿（3室利用） 300 m² 300人
- ・201 研修室 44 m² 25人
- ・202 研修室 53 m² 30人

<3 階>

- ・301 研修室 30 m² 16人
- ・302 研修室 60 m² 21人 PC21台

● 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 每月第2・4水曜日（水曜日が祝日の時は、その翌日）年末年始
- ・使用申込み方法
 - ① 連続使用は10日間まで
 - ② 使用する日の3か月前の月の初日から使用日の3日前までに、許可申請書及び誓約書により申し込む。
 - ③ 使用日の3日前までに、必要な事項の打合せを行う。
 - ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。

● 施設利用状況

使用内訳	平成20年度	平成21年度
ホール椿	297（件数）	349（件数）
研修室	1,247（件数）	1,241（件数）
交流サロン・子どもセンター	13,387（利用者数）	18,573（利用者数）

情報交流館事業

事 業 名	事 業 内 容
ののいちタウン情報局	カメリアの事業内容や実施状況など、常に新しい情報を地域ポータルサイト（ののいちタウン情報局）に掲載し、地域の情報発信及び館の利用促進を図る。<アクセス数：86,065件>
パソコン・ITなんでも相談窓口	インターネット、文書作成、表作成、音響、映像分野の情報処理などの相談窓口を開設。<利用者数：518人、相談件数：614人>
カメリアパソコン教室	パソコン（XP・win7）入門、ワード2003・2007入門、エクセル2003・2007入門、ワード2003・2007中級、エクセル2003・2007中級、デジカメ画像入門、ビデオ編集入門、ホームページビルダー入門、ワードで年賀状を開講。<延受講者数：1,057人 実受講者数：303人>
カメリアビデオパソコン講座	インターネットを介したビデオ教材による自学自習講座 299コース／3,821講座閲覧可能
カメリア・パル育成	カメリアを拠点とした交流と連携によるまちづくりを目指す「カメリア・パルの会」の活動支援。<会員数：40名>
カメリア親子体験塾 2010 (カメリア・パルの会共催)	自然・歴史・文化・芸能に触れる体験活動を通して、ふるさとを愛する心、自然と調和・共存する気持ち、創造する精神を養う。 8開催予定<開催回数：7回 参加者総数：168人>
大学連携・町民塾事業 (生涯学習課委託)	講座数42 <ITボランティア育成 パソコン講座受講 7月 受講者数：4人> <スクーリング 2月9日(火)参加者数：39人>
野々市こどもセンター	①放課後子ども教室 開催回数：25回 ②チャレンジ教室 開催回数：6回 ③機関紙「みんなであ・そ・ぼ」2回発行（3,260部/回）
地域情報化協働事業	①のっティ新聞 発行回数：4回（2,000部/回） ②ののいち地域事典の拡充
映像制作事業	①ミニミニ映像大賞ワークショップ（NHK共催） 7月29日(木) ②HAB第9回ふるさとCM大賞作品制作協力制作期間：6月～9月
科学技術理解増進事業 ・カメリア・キッズ ・星空観望会 ・ITデジタルアート制作	前期：空間サイエンス編 全4回 後期：スクイーク編 全5回 ①春の星空観望会 5月22日(土) 300名参加 ②部分月食観察会 6月26日(土) 雨天中止 ののいちデジタル・パラパラまんがコンテスト 第1回 6月～8月末、第2回 11月～1月末 アニメづくりワークショップ 11月
カメリア5周年記念事業	10月16日(土) あらみや公園 アコースティックギターコンサート、月見灯路、天文観測など

表中の< >内の数値は平成21年度数値

VIII. スポーツ振興

1. 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用を図ることにより、町民（老若男女）すべてが参加し、楽しめるスポーツ活動を推進し、一人一人が健康で豊かな生活を営み、かつ積極的で活力あふれる地域社会を構築する。

(2) 重点事項

ア. 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進

- ① 町民の健康増進を推進するため、各種スポーツ教室の充実を図る。
- ② さわやかスポーツフェスティバル、トリプルソフトバレー大会等を通じて、ニュースポーツ・レクリエーションの奨励普及に努める。
- ③ 町のホームページや広報のほか、「スポーツガイド」の発行や「えふえむ・エヌ・ワン」等を活用した情報発信に努める。
- ④ 体育指導委員の活動強化と資質の向上に努める。

イ. 競技スポーツの振興

- ① 石川県民体育大会等上位入賞を目指した競技力の向上を図る。

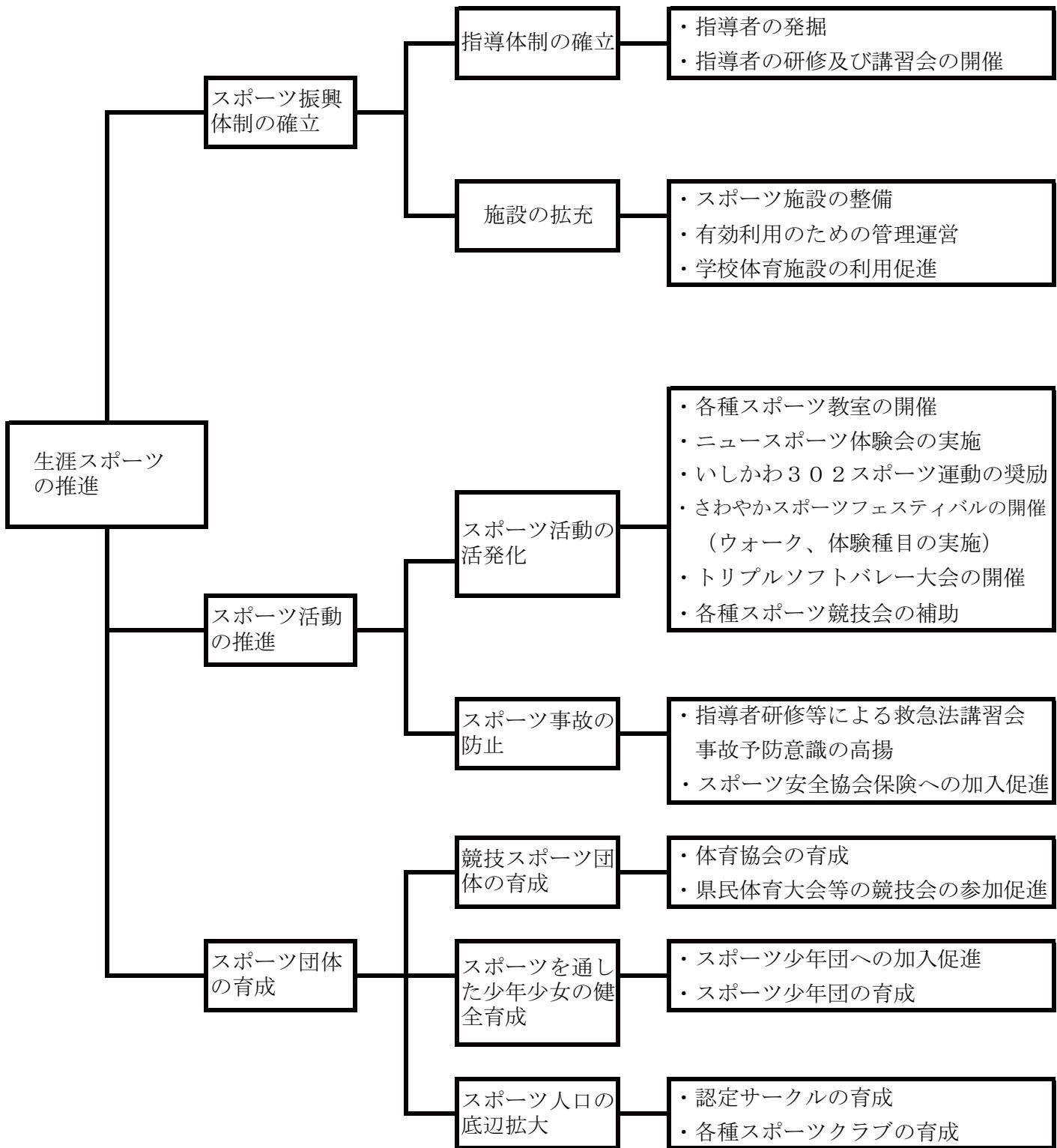
ウ. スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進

- ① スポーツクラブの育成、体力づくりに努める。
- ② 体育協会、スポーツ少年団の組織強化に向けた取り組みを推進する。

エ. スポーツ施設の設備・充実

- ① 既存施設の計画的な整備・充実を図る。
- ② 指定管理者による既存施設の管理運営に対する適切な指導に努める。

2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツ振興体制の確立

ア. スポーツ振興審議会

5月28日（金）審議会開催



イ. 体育指導委員連絡協議会

- ・月1回の定例会の開催
- ・町・地域スポーツ事業等への協力
- ・ニューススポーツ体験会の実施

ウ. 指導者講習会・研修会の開催

- ・スポーツおもしろゼミナール
12月開催予定
- ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会
12月開催予定
- ・石川県及び北陸地区体育指導委員研修会
6月26日（土）～27日（日）
開催地：石川県小松市

ニューススポーツ体験会



エ. スポーツ施設の整備

- ・スポーツランドプール外壁等改修工事
- ・スポーツランドプール棟空調設備改修工事
- ・スポーツランドさわやかホールトップライト等改修工事
- ・健康広場防球ネット改修工事

スポーツおもしろゼミナール

オ. 体育施設の管理運営

- ・（財）野々市町公共施設管理事業団を指定管理者として全体育施設の委託

カ. 学校体育施設の利用促進

4月22日（木）学校体育施設開放運営委員会の開催
学校体育施設開放指導員打ち合わせ会
の開催



スポーツ教室（リズムボーカル教室）

(2) スポーツ活動の推進

ア. 生涯スポーツ活動推進事業

- ・少年少女スポーツ
 - ・一般スポーツ
 - ・高齢者スポーツ
-
- 各種スポーツ教室の開催

イ. スポーツ情報の提供

- ・スポーツガイドの発行
- ・チラシ、ポスターの発行による行事案内
- ・町広報・ホームページによる行事案内
- ・えふえむ・エヌ・ワン「マイタウンののいち」
での行事案内



じょんからの里マラソン大会

ウ. 体育大会の開催

- ・第14回野々市町小学生相撲大会
5月15日（土） 町相撲場
- ・さわやかスポーツフェスティバル2010
6月6日（日）、12日（土）及び13日（日）に開催 町民体育館他
- ・第29回野々市町じょんからの里マラソン大会
10月17日（日） 町内マラソンコース 開催予定
- ・第2回野々市町トリプルソフトバレー大会
平成23年3月中旬 町民体育館 開催予定



小学生相撲大会

エ. 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・激励費等の支給

オ. 頤 彰

- | | |
|------------|-------------------|
| ・県 関 係 | ・生涯スポーツ功労者表彰 |
| | ・生涯スポーツ優良団体表彰 |
| | ・県体育指導委員協議会表彰 |
| ・県体育協会関係 | ・体育協会功労者表彰 |
| | ・スポーツ少年団指導育成功労者表彰 |
| ・町 関 係 | ・特別栄誉表彰 |
| | ・スポーツ功労表彰 |
| ・町教育委員会関係 | ・教育功労表彰 |
| | ・教育振興表彰 |
| ・町体育協会関係 | ・体育功労賞 |
| | ・スポーツ賞 |
| | ・スポーツ奨励賞 |
| ・スポーツ少年団関係 | ・特別功労者表彰 |
| | ・功労者表彰 |
| | ・優秀クラブ表彰 |



さわやかスポーツフェスティバル

カ. スポーツ事故の防止

- ・各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進

(3) スポーツ団体の育成

ア. 体育協会 28団体（さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及）

- ・第62回石川県民体育大会 夏季大会
8月7日(土)・8日(日) 小松市主会場
- ・第63回石川県民体育大会 冬季大会
平成23年2月末予定 白山市
- ・競技強化委員会による競技力の向上
- ・町民を対象としたスポーツ教室の開催（弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ等）

イ. スポーツ少年団17クラブ（少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大）

- ・指導者・保護者研修会
12月上旬予定
- ・清掃奉仕活動
7月下旬～ 町内各小学校他
- ・体力テスト会
11月28日(日) 町民体育館
- ・リーダー研修会
平成23年1月22日(土)・23日(日) 白山青年の家
- ・総合交歓会
平成23年2月27日(日) 町民体育館



リーダー研修会



総合交歓会

ウ. 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体
- ・認定サークル
- 一般スポーツクラブ 36団体
- 高齢者スポーツクラブ 2団体



石川県民体育大会 夏季大会



石川県民体育大会 冬季大会

工. スポーツ団体一覧

① 体育協会加盟団体

	協会名	代表者名	加盟年月
1	野々市町バレーボール協会	長谷川 歩	昭和49年10月
2	野々市町剣道協会	内山利明	昭和48年8月
3	野々市町陸上競技協会	目名進	昭和48年4月
4	野々市町卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市町弓道協会	本多郁夫	昭和49年12月
6	野々市町ソフトボール協会	西本浩二	昭和50年4月
7	野々市町クレー射撃協会	島崎晃次	昭和50年4月
8	野々市町ボウリング協会	山崎茂	昭和50年6月
9	野々市町野球協会	西村一義	昭和52年4月
10	野々市町バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市町テニス協会	美谷悦郎	昭和55年4月
12	野々市町バドミントン協会	橋爪晃	昭和55年3月
13	野々市町スキーアーク協会	中山巖	昭和55年11月
14	野々市町ソフトテニス協会	橋里志	昭和57年1月
15	野々市町空手道協会	大鋸鐵	昭和57年4月
16	野々市町相撲連盟	田中昭一	昭和57年7月
17	野々市町トランポリン協会	吉田修	昭和58年6月
18	野々市町サッカー協会	高谷進二郎	昭和59年4月
19	野々市町水泳協会	無量井次歳	昭和59年4月
20	野々市町ゲートボール協会	塚本稔	昭和59年4月
21	野々市町柔道協会	川合長尋	昭和61年3月
22	野々市町山岳協会	増山脩	平成元年4月
23	野々市町グラウンドゴルフ協会	安嶋一夫	平成4年4月
24	野々市町ゴルフ協会	村山和雄	平成4年4月
25	野々市町太極拳協会	高野晃	平成14年1月
26	野々市町ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市町パークゴルフ協会	土肥利行	平成18年4月
28	野々市町少林寺拳法協会	石原晋	平成19年4月

② スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	剣道スポーツ少年団	昭和48年	10	菅原学童野球クラブ	昭和57年
2	柔道スポーツ少年団	昭和54年	11	菅原少年サッカークラブ	昭和58年
3	少年少女トランポリンクラブ	昭和56年	12	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
4	野々市ジュニアバドミントンクラブ	昭和61年	13	富陽学童野球クラブ	昭和63年
5	野々市学童野球クラブ	昭和56年	14	富陽サッカークラブ	昭和62年
6	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	15	野々市ジュニアバレーボールクラブ	昭和61年
7	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	16	館野学童野球クラブ	昭和59年
8	御園学童野球クラブ	昭和55年	17	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
9	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年			

③ スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 8チーム

クラブ名	対象	クラブ名	対象
住吉クラブ	一般	プレイボーイ	一般
シマツ一	〃	ピンクパンサー	〃
花の木クラブ	〃	栗田ソフトボールクラブ	〃
センチュリー21	〃	オクタカダッチャンズ	〃

● 壮年ソフトボールクラブ 8チーム

クラブ名	対象	クラブ名	対象
あやめ壮年クラブ	一般壮年男子	新庄壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子
栗田壮年ソフトクラブ	〃	稲荷壮年ソフトボールクラブ	〃
太平寺壮年ソフトボールクラブ	〃	エレファント	〃
のらくろクラブ	〃	位川ソフトボールクラブ	〃

● 早朝日曜野球連盟 8チーム

クラブ名	対象	クラブ名	対象
ツイスタード	一般	野々市スパローズ	一般
MNO	〃	野々市町役場	〃
ブルーサンダース	〃	石さん	〃
栗田クラブ	〃	高桑美術印刷	〃

④ 町内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》 (15クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
レディース野々市	軽スポーツ	酒井睦美	市民体育館
野々市卓球クラブ	卓球	宮岸外喜子	市民体育館
野々市レインボー	トランポリン	竹田節子	市民体育館
野々市バドミントンクラブ	バドミントン	西谷澄子	野々市中学校 市民体育館 スポーツセンター
風雅	フリースタイル・ダンス	橋野和代子	スポーツセンター
ボディA	健康増進の為の運動	二木あい	スポーツセンター
S・C・Dマリーゴールド	スコティッシュカントリーダンス	無量井澄子	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳	尾崎絹代	スポーツランドプール
アクアビクス2000	水中エアロ	北川百合子	スポーツランドプール
T・V・C	バレーボール	坂尻悦子	菅原小学校
サクセス	バレーボール	蒲生英子	菅原小学校
野々市ラブリー	バレーボール	吉村朋子	館野小学校 市民体育館
みそのクラブ	バレーボール	平田洋美	御園小学校
WEED	バスケットボール	小竹忍	野々市中学校
N'wicht	バレーボール	永井博美	富陽小学校

《一般対象》 (21クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
フレッシュテニスクラブ茜	フレッシュテニス	一ノ谷 美知子	町民体育館
野々市町トランポリン愛好会	トランポリン	横浜猛夫	町民体育館
グリップクラブ	バドミントン	林 実	町民体育館
ファイナー・クロス	ソフトバレーボール	池田美千代	町民体育館
野々市卓球愛好会	卓球	土田友雄	スポーツセンター
タウンビート	ジャズダンス	源田葉子	スポーツセンター
野々市町バウンドテニスクラブ	バウンドテニス	田村裕美	スポーツセンター
ティエトワール	クラシックバレエ	蕪城吏花	スポーツセンター
野々市太極拳クラブ	武術太極拳	高野晃	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	中村義彦	野々市小学校 スポーツセンター
野々市サッカークラブ	サッカー	酒巻浩司	布水中学校 富陽小学校
館野バドミントンサークル	バドミントン	坂戸耕洋	館野小学校
ピュアーズ	ソフトバレーボール	中島哲也	御園小学校
野々市空手同好会	空手道	上田侑弘	武道館
少林寺拳法石川野々市支部	少林寺拳法	石原晋	武道館
野々市町走ろう会	ジョギング	目名進	フォルテ周辺
野々市町スノーボード協会	スノーボード	殿村和也	白山麓スキー場
w i l	トリムバレーボール	中條久美子	野々市中学校
楽しい山の会	登山	上野喜紹	県内外の山
日本空手協会野々市道場	空手道	谷川典生	館野小学校 富陽小学校
空手野々市クラブ	空手道	出口正人	富陽小学校

《高齢者対象》 (2クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	山森義之	町民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	田川修身	スポーツセンター

3. 体育施設

(1) 社会体育施設

ア. 施設概要

単位 : m²

施設名	位置	規模	施設内容	完成年月日
野々市市民体育館	下林3丁目97	4,433 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m × 34.45m) 小体育室 (22.00m × 13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市町武道館	字位川183	1,072	柔道場 (14.92m × 18.42m) 剣道場 (14.92m × 22.10m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市町弓道場	太平寺3丁目128	860	射場棟 (89.43m ²) 的場棟 (26.75m ²)	昭和56年9月30日
野々市市民野球場 雨天練習場	下林3丁目97	14,754 168 駐車場 822	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人 収容 外野スタンド 1,600人 収容 夜間照明(12,778m ²)内野(1,150ルックス) 外野(600ルックス) 照明塔(6基) 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和61年9月29日 昭和62年12月15日
野々市町相撲場	下林3丁目97	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林3丁目97	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 被照明面積 (1,600m ²) 平均照度 (250ルックス) 照明塔 (4基)	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林3丁目97	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 (8,000m ²) 平均照度 (350ルックス) 照明塔 (6基)	昭和55年11月30日
ジョギングコース	下林3丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市町簡易運動広場	太平寺3丁目129	6,500	球技場 } (2,700 m ²) ゲートボール場 } コート 3面 テニスコート (2,200m ²) クレコート 3面 ストリートバスケットコート } 芝生広場 1面 } (1,600 m ²)	昭和56年9月20日 平成13年1月31日
野々市町健康広場	上林1丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園 運動広場	押野1丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日

野々市町 スポーツランド	中林5丁目1-1	25,276	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m トレーニングプール、ジャグジー プール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5 m ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面 ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 " 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700m ² 平均照度 350ルックス 照明塔 20基 ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713m ²	平成4年3月25日
野々市町 スポーツセンター	押野2丁目30	5,542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1週160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

イ. 施設の利用状況

平成21年度野々市町体育施設の利用状況及び使用料報告

単位：人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
町民体育館	34,050	62,838	1,090,425
町民野球場	679	14,441	1,567,125
中央公園テニスコート	1,059	2,740	758,700
スポーツセンター	28,684	67,425	1,733,600
武道館	880	18,804	91,050
簡易運動広場	3,852	16,007	0
中央公園運動広場	299	14,222	264,000
押野中央公園運動広場	140	5,893	205,875
健康広場	169	6,080	293,125
相撲場	3	432	0
スプラン・テニスコート	4,444	13,912	806,250
スプラン・さわやかホール	1,999	14,949	695,750
スプラン・プール	34,344	43,313	7,291,225
スプラン・研修室	13	111	0
合計	110,615	281,167	14,797,125

(2) 学校体育施設

ア. 施設概要

施 設 名	位 置	施 設 内 容
野々市小学校	本町5丁目3-1	運動場 7,232 m ² 体育館 1,120 m ²
御園小学校	稻荷4丁目128	運動場 13,211 m ² 体育館 1,409 m ²
菅原小学校	菅原町20-1	運動場 7,328 m ² 体育館 1,667 m ²
富陽小学校	中林5丁目70	運動場 10,228 m ² 体育館 1,614 m ²
館野小学校	押野3丁目71	運動場 12,521 m ² 体育館 1,489 m ²
野々市中学校	字三納300	運動場 13,100 m ² 体育館 2,130 m ² 被照明面積 7,000 m ² 平均照度 300 ルックス 照明塔 4 基
布水中学校	押野2丁目100	運動場 16,874 m ² 体育館 2,193 m ² 平均照度 350 ルックス 照明塔 6 基

イ. 施設の利用について

施 設 名		使 用 で き る 時 間	利 用 の 範 囲 等
野々市中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平 日 午後7時～午後9時	
	体育館	午後7時～午後9時30分	登録スポーツクラブ活動を原則とします。
布水中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没	社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平 日 午後7時～午後9時	
野々市小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
菅原小学校	体育館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
御園小学校	体育館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
富陽小学校	体育館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
館野小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時	登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、 社会教育関係団体行事を原則とします。
	運動場	平 日 午後4時～日没 土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没	少年のスポーツ活動 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放

※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。

全施設とも12月28日～1月4日は使用不可。

平成21年度 学校体育施設開放利用状況

H21年4月～H22年3月

各種委員会委員等

町 特 別 職

町 長 粟 貴 章
副 町 長 田 中 宣

教 育 委 員

委 員 長 北 本 正
職 務 代 理 德 田 寿 秋
委 員 清 水 外 司 英
〃 荻 野 直 子
〃 中 野 惠 美 子
委員（教育長） 村 上 維 喜

野々市町就学指導委員会

委 員 長 浅 井 恭 一
委 員 中 村 英 夫
〃 割 崎 康 江
〃 西 村 優 紀 美
〃 濱 田 利 幸 (野々市小学校長)
〃 廣 瀬 修 (御園小学校長)
〃 新 保 修 (菅原小学校長)
〃 藤 森 慎 一 (富陽小学校長)
〃 橋 本 有 可 (館野小学校長)
〃 橋 口 有 康 (野々市中学校長)
〃 宮 本 浩 一 (布水中学校長)
〃 山 崎 由 治 (子育てあんしん課長)
〃 山 岸 志 保 子 (あすなろ保育園長)
〃 鶴 岡 恒 久 (学校教育課長)

社会教育委員会

議長	山本 邦継	
委員	奥村 善久	
〃	北川 千里	
〃	桑村 佐和子	
〃	谷川 典生	(町子ども会育成連絡協議会)
〃	西脇 孝二	
〃	広瀬 修	(御園小学校長)
〃	藤多 典子	
〃	宮本 浩一	(布水中学校)
〃	宮川 渉	
〃	室山 統	(P T A連合会)
〃	吉道 悅子	

公民館長等

中央公民館	魚野 孝次郎
野々市公民館	田多野 和彦
富奥公民館	西本 正明
郷公民館	中村 一好
押野公民館	塚本 省司
少年育成センター	山本 邦継
女性センター	大村 礼子

公民館運営審議会

中央公民館

委 員	上 野 弘 子	
"	新 保 修	(菅原小学校)
"	竹 本 忠 利	
"	藤 田 雅 顯	
"	藤 力	
"	帆 莉 宏 典	
"	堀 秀 次	
"	松 本 智 子	
"	無量井 智 一	
"	目 名 進	

野々市公民館

委 員	谷 川 典 生	
"	田 村 喜久恵	
"	田 中 陽 子	
"	濱 田 利 幸	(野々市小学校)
"	藤 力	

富奥公民館

委 員	金 田 誠 治	
"	栗 山 源一郎	
"	辻 まさ子	
"	藤 森 慎 一	(富陽小学校)
"	目 名 進	

郷公民館

委 員	岡 田 充 晴	
"	谷 本 紀 子	
"	廣 瀬 修	(御園小学校)
"	堀 秀 次	
"	村 竹 治	

押野公民館

委 員	加 藤 靖 二	
	西 川 久 恵	
	橋 本 有 可	(館野小学校)
"	藤 田 雅 顯	
"	室 山 統	

図書館協議会

委 員	赤 江 利 香
"	魚 住 慧 子
"	川 上 秀 子
"	中 村 恵 子
"	半 村 民 雄
"	帆 莉 宏 典

女性センター運営委員会

委 員	黒 部 美恵子
"	福 井 満佐美
"	村 上 治 美
"	村 上 他喜子
"	山 口 知 子

青少年問題協議会

会長	栗 貴 章	(町長)
副会長	藤 力	
委員	伊藤 充 絹川 博 新 康 史	(野々市明倫高等学校)
"	寺岡 敏 彦	
"	橋本 勲	(松任警察署)
"	廣瀬 修	(御園小学校)
"	藤多 典 子	
"	福村 一	(石川中央保健福祉センター)
"	宮崎 昭 男	
"	宮本 浩 一	(布水中学校)
"	山本 邦 繼	
"	村上 綜 喜	(教育長)
"	岡田 晴 彦	(健康福祉部長)
"	村井 治 郎	(教育文化部長)
幹事	鶴岡 恒 久	(学校教育課長)
"	下浦 勝 義	(生涯学習課長)

少年育成センター運営協議会

会長	絹川 博	
副会長	角田 敏	(布水中学校)
委員	漆原 伸 秀	
"	太田 淳 子	(野々市明倫高等学校)
"	大村 礼 子	
"	岡田 實	
"	北 一 也	(野々市中学校)
"	川渕 功	(菅原小学校)
"	谷 哲 夫	(野々市交番)
"	鍔 泰	
"	中村 行 也	
"	宮前 克	
"	森田 隆 久	(学校教育課)
"	山本 賢 太	

文化財保護審議会

会	長	徳田寿秋
委	員	三浦純夫
"		北春千代
"		小林忠雄

スポーツ振興審議会

会	長	山口直
副	会長	森田敦志
委	員	橋本孝
"		南部直枝
"		牧口茂子

学校体育施設開放運営委員会

委 員	北 一也	(野々市中学校)
"	角 田 敏	(布水中学校)
"	北 本 直 美	(野々市小学校)
"	上 林 泰 子	(御園小学校)
"	川 渕 功	(菅原小学校)
"	日 向 彰 子	(富陽小学校)
"	南 山 俊 朗	(館野小学校)
"	西 村 敬 司	
"	館 真由美	
"	吉 田 雄 次	
"	坂 下 大 祐	
"	福 永 優美子	
"	中 薮 晃	
"	西 谷 澄 子	
"	押 田 克 夫	
"	坂 尻 悅 子	
"	魚 谷 龍 平	

体育指導委員連絡協議会

会 副 会 長	長 谷 川 芳 彦	彦
委 員	大 崎 正 子	正
"	長 田 正 子	
"	西 野 辰 雄	
"	西 安 中 秀	行
"	藤 井 誠	
"	森 岡 孝 之	
"	北 村 慎 吾	
"	永 井 昌	
"	蒲 口 博	幸
"	沢 口 了 章	
"	市 本 仁 子	
"	黒 瀬 千代子	
"	一ノ谷 美知子	
"	西 谷 真知子	
"	宮 本 真由美	
"	川 井 智 子	
"	高 坂 良 恵	
"	畠 紀 子	

町立学校長等

野々市小学校	校長	濱瀬利幸	教頭	本直泰	美子
御園小学校	〃	廣瀬修修	〃	上川渕	功子
菅原小学校	〃	新保修	〃	日向彰	朗
富陽小学校	〃	藤森慎一	〃	南北山俊	也
館野小学校	〃	橋本有可	〃	南北山俊	敏
野々市中学校	〃	橋口有康	〃	南北山俊	一
布水中学校	〃	宮本浩一	〃	角田敏	

北陸学院扇が丘幼稚園	園長	楠本史郎
青竜第二幼稚園	〃	和田節子
石川県立野々市明倫高等学校	校長	伊藤充
石川県立明和特別支援学校	〃	浦嶋千代美
石川県立大学	学長	松野隆一
金沢工業高等専門学校	校長	山田弘文
金沢工業大学	学長	石川憲一

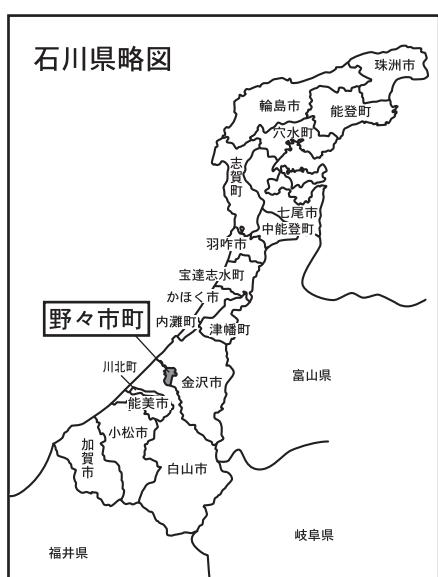
歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
中島栄治	31. 10. 1	34. 1. 31	委員長 31. 10. 1~34. 1. 31
福田栄正	31. 10. 1	32. 9. 30	
西村伸一郎	31. 10. 1	42. 9. 30	委員長 34. 2. 1~42. 9. 30
中川直二	31. 10. 1	47. 3. 31	委員長 42. 10. 1~47. 3. 31
松崎時哉	31. 10. 1	35. 9. 30	教育長
中山知二	32. 10. 1	36. 3. 31	
河村好一郎	34. 4. 1	46. 3. 29	
長田健	35. 10. 1	37. 10. 28	教育長
小柳正明	36. 4. 1	47. 3. 9	
竹内保之	37. 12. 18	46. 12. 16	教育長
中野栄吉	42. 10. 1	46. 9. 30	
中野久男	46. 6. 11	59. 9. 30	委員長 47. 4. 1~51. 9. 30
宮前和夫	46. 10. 1	58. 9. 30	委員長 51. 10. 1~55. 9. 30
中田哲	46. 12. 24	51. 9. 30	教育長
魚住正元	47. 3. 10	51. 3. 12	
岡田一郎	47. 6. 30	57. 9. 30	委員長 55. 10. 1~57. 9. 30
絹川清	51. 3. 12	54. 12. 20	
埜谷博	51. 10. 1	55. 9. 30	教育長(就任 51. 10. 7)
宮岸光	54. 12. 21	6. 5. 26	委員長 57. 10. 1~61. 9. 30
東谷弘	55. 10. 1	8. 9. 30	教育長
坂本六郎	57. 10. 1	6. 9. 30	委員長 61. 10. 1~2. 9. 30
木村博	58. 10. 1	62. 9. 30	
高桑繁	59. 10. 1	12. 9. 30	委員長 2. 10. 1~6. 9. 30
矢野喜一郎	62. 10. 1	7. 9. 30	委員長 6. 10. 1~7. 9. 30
喜多禎一	6. 6. 20	21. 9. 30	委員長 7. 10. 1~11. 9. 30
清水外司英	6. 10. 1	在任中	委員長 11. 10. 1~15. 9. 30
宮前定夫	7. 10. 1	14. 9. 30	
田村昌俊	8. 10. 1	16. 9. 30	教育長
北本正	12. 10. 1	在任中	委員長 15. 10. 1~
鶴見光男	14. 10. 1	19. 9. 30	
田中宣	16. 10. 1	20. 3. 30	教育長
徳田寿秋	19. 10. 1	在任中	
村上維喜	20. 3. 31	在任中	教育長
荻野直子	20. 10. 1	在任中	
中野恵美子	21. 10. 1	在任中	

町内施設住所・電話番号一覧

名 称	住 所	電話番号	名 称	住 所	電話番号
公共施設					
①野々市町役場	野々市町三納18街区1	227-6000	④富陽小学校	野々市町中林5丁目70	246-4380
①野々市町教育委員会	"	227-6111	⑤館野小学校	押野3丁目71	248-0622
①野々市町情報交流館	"	227-6200	⑥野々市中学校	字三納300	246-0115
②野々市町水道管理センター	高橋町3-33	248-5000	⑦県立明和特別支援学校	押野2丁目100	248-0039
③野々市町高区浄水場	新庄2丁目22	248-3828	⑧県立野々市明倫高等学校	中林4丁目70	246-1133
④野々市町文化会館	本町5丁目4-1	248-8000	⑨石川県立大学	下林3丁目309	246-3191
⑤野々市町教育センター	本町4丁目21-27	248-8456	⑩金沢工業大学	末松1丁目308	227-7220
⑤野々市町少年育成センター	"	294-8815	⑪野々市町学校給食センター	扇が丘7-1	248-1100
⑥野々市町スポーツセンター	押野2丁目30	294-5511		太平寺3丁目148	246-3066
⑦野々市町中央公民館	本町2丁目1-20	248-0521	社会福祉施設		
⑦野々市町野々市公民館	"	248-0521	⑫中央保育園	本町3丁目2-22	248-0240
⑧野々市町立図書館	本町2丁目14-6	248-8099	⑬富奥保育園	中林5丁目30	248-0828
⑨野々市富奥公民館	中林5丁目3	248-0829	⑭押野保育園	押野3丁目115	248-0343
⑩野々市町郷公民館	字田尻町94	248-0250	⑮野々市町押野児童館	"	248-9666
⑪野々市町押野公民館	押野3丁目70	248-2839	⑯子育て支援センター押野	"	248-0290
⑫野々市町青少年センター	住吉町17-10	246-0250	⑰御経塚保育園	御経塚1丁目288	248-0181
⑬末松廃寺収蔵庫	末松2丁目		⑱栗田保育園	栗田1丁目126	246-3737
⑭野々市町埋蔵文化財収蔵庫	御経塚1丁目182	246-0133	⑲ほりうち保育園	堀内4丁目160	248-2320
⑮野々市町ふるさと歴史館	"	246-0133	⑳あすなろ保育園	御経塚5丁目30	246-0211
⑯野々市町郷土資料館	本町3丁目19-24	246-2672	㉑白山保育園	白山町4-2	248-4337
⑯野々市町武道館	字位川183	246-4985	㉒和光保育園	扇が丘18-13	248-6250
⑰野々市町民体育館	下林3丁目97	248-1223	㉓つばき保育園	太平寺1丁目302	248-1155
⑱野々市中央公園テニスコート	"	"	㉔子育て支援センター菅原	菅原町8-33	248-4634
⑲野々市中央公園運動広場	"	"	㉕エンジェル保育園	本町6丁目22-1	248-2888
㉑野々市町相撲場	"	"	㉖ふじひら保育園	藤平142	246-1181
㉒野々市町民野球場	"	"	㉗野々市町保健センター	字三納500番-1	248-3511
㉓野々市町簡易運動広場	太平寺3丁目129		㉘社会福祉法人野々市町社会福祉協議会	本町5丁目18-5	246-0112
㉔野々市町弓道場	太平寺3丁目128	248-0067	㉙野々市町老人福祉センター椿荘	矢作3丁目1-2	246-5570
㉕野々市町健康広場	上林1丁目180		㉚野々市町中央児童館	"	248-5325
㉖野々市町スポーツランド	中林5丁目1-1	294-5800	㉛野々市市デイサービスセンター	矢作3丁目3	248-9900
㉗野々市中央公園運動広場	押野1丁目180		㉜野々市町本町児童館	本町3丁目10-12	246-3881
㉘野々市町交遊舎	二日市1丁目2	294-8166	㉝野々市町女性センター	稻荷4丁目155	246-0810
㉙松任警察署野々市交番	本町6丁目22-2	248-0059	㉞石川県百々鶴荘	上林1丁目179	248-4775
㉚松任警察署野々市南交番	藤平138-1	294-1500	㉟石川県立身体障害者授産所	末松2丁目229	248-9300
㉛白山石川広域事務組合	本町5丁目17-8	248-5516	㉟石川県障害者職業センター	末松2丁目244	246-2210
野々市消防署	字二日市612	248-0100	㉜石川障害者職業能力開発校	末松2丁目245	248-2235
㉜J R野々市駅	白山町8-15	294-8303	㉙社会福祉法人石川サニーメイト	末松2丁目239	248-0294
㉝社団法人野々市町シルバー人材センター	本町1丁目2-50		㉚石川県としよりと子供の健康ひろば	上林2丁目185	246-0130
㉞野々市町防災コミュニティセンター	扇が丘97-6	248-3412	㉛ときわ病院	中林4丁目123	248-5221
㉟のいちまち地域安全センター			㉜社会就労センターけやき野苑	中林1丁目1-1	248-4871
学校施設			㉝特別養護老人ホーム富樫苑	中林4丁目62	248-8765
㉟北陸学院扇が丘幼稚園	本町5丁目6-23	248-1501	㉞野々市町いきがいセンター矢作	矢作3丁目2-10	246-2007
㉟青竜第二幼稚園	上林3丁目167	248-5656	㉜野々市町いきがいセンター御経塚	御経塚1丁目38	248-2231
㉟野々市小学校	本町5丁目3-1	248-0084			
㉟御園小学校	稻荷4丁目128	248-3201			
㉟菅原小学校	菅原町20-1	248-6066			

石川県略図



町内施設配置図

